



# 2024年度 事 業 報 告 書



毎週火曜日のわいわいデイルーム

公益財団法人 神戸YWCA

# 目 次

YWCAの使命（ミッション）	3
事業報告	
I. 平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）	4
世界・社会委員会	
＜グループ＞	
声の奉仕	
ジエンダーグループ	
ピース・ブリッジ	
平和活動グループ	
夜回り準備会	
環境・くらし委員会	
＜グループ＞	
讃美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
文学講座	
ユース・エンパワメント委員会	
＜グループ＞	
愛農人俱楽部	
マザースカレッジ企画会	
II. 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）	14
神戸YWCAまごの手	
（訪問介護事業、居宅介護支援事業、居住支援事業、わいわいデイルーム）	
神戸YWCA保育園	
神戸YWCAつどい場	
若年性認知症の人たちとその仲間たちの集い カフェもぐもぐ	
木曜カフェ	
ちやいやあらんど（休会中）	
III. 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）	24
神戸YWCA学院	
（日本語コース、日本語教師養成コース、外国語コース、文化教養コース）	
多文化共生ボランティア部	
IV. 活動共通事業	28
運営委員会	
定期会員集会準備会	
指名委員会	
会員委員会	
キリスト教基盤委員会	
HAT神戸・灘の浜プロジェクト	
V. 広報・ファンドレイジング	33
機関紙編集委員会	
ファンドレイジング実行委員会	
施設貸与	
VI. 法人	35
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	
2024年度公益財団法人神戸YWCA組織図／評議員・理事・監事・運営委員・職員	
決算報告書	
監査報告	

YWCAの使命（ミッション）  
第34回総会期  
日本YWCA 全国会員総会決議

主題聖句 平和を実現する人々は幸いである  
—マタイによる福音書5章9節—

ビジョン

女性がリーダーシップを發揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。

2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくります。

4. セーフ スペース

会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸YWCA ビジョン  
一人ひとりが大切にされる社会

神戸YWCA ミッション  
多種多様な「つながりづくり」によって、  
個と集団をエンパワーする。

神戸YWCA 2024年度活動目標  
つながりの意味を深め、共に動こう

# 事業報告

## (2024年4月～2025年3月)

### I 平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心に実施していく。

#### 世界・社会委員会

##### ●活動方針・活動目標

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならない課題に、1年かけて取り組んでいく。

#### 日本市民社会の民主主義を見直す～日本の「民主」社会は外国人とどう生きているのか

代表：野村春美

メンバー：5人

職員：西本玲子

##### ●活動方針・活動目標

目標：外国人と共に生きるより良い日本の姿を考える。3年目のプロジェクト

##### ●活動報告

今年度は、今まで取り組んできた問題をもっと多くの人に伝える手段として、SNSの活用が必要ではないかと話し合った。まず、SNSを利用するにあたって、「SNSで炎上しないために」をテーマに高校生のメンバーを講師として、注意点などを学んだ。次に、何を発信するか、どのように発信するかを話し合った。個人的に発信するのに問題があるので、神戸YWCAの活動として発信していくためのツールをどのように使っていくか、また日本YWCAや他市YWCAがどのように発信しているかを検討していくことを話し合ったが、まだ実現できていない。今年度の終わりに兵庫県知事問題でもSNSで盛んに取り上げられたが、高校生のメンバーが選んだ動画を見て、私たちはSNSの情報をどのように受け止めていくのかなど、考え話し合った。

##### ●活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA会館および オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均参 加人数
7月20日	第1回ミーティング	今年度のスケジュール・企画について	6	29 (全5回)	5
8月26日	第2回ミーティング	「SNSで炎上しないために」についてメンバーの高校生により学ぶ。	5		
9月29日	第3回ミーティング	世界社会委員会で学んで来たこと知つてもらうためにSNSの活用について話し合った。	6		
1月6日	第4回ミーティング	兵庫県知事問題から、SNSや新聞、テレビなどのメディアの情報について話し合った。 2025年度の活動計画について話し合った。	6		
3月16日	第5回ミーティング	「メンバーと観る～youtube～」を開催。メンバーの高校生が選んだ動画を見て、SNSの情報をどう受け止めるかなどについて考えた。	6		

#### Wチャンネルプロジェクト

代表：斎藤明子

メンバー：5人

職員：西本玲子

##### ●活動方針・活動目標

出会って語って、共有、共感から新しい何かを生み出す。メンバーをエンパワメントする。

##### ●活動報告

8月、運営委員会とともに「私のへいわ夏まつり」を実施した。「出会って語って、共有、共感する」を実践する場としての企画である。参加者それぞれの平和の思いを共有し、普段一緒に活動することの少ない会

員同士が話し合って、「平和」について考える機会となった。

## <グループ>

### 声の奉仕

代表：山崎いづみ、山崎恵

メンバー：10人

#### ●活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回程度、講師による朗読の学習指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団（以下、赤十字奉仕団）を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化したものをリスナーに発送する。

#### ●活動報告

毎月第4火曜日の12時30分～16時まで神戸YWCA会館で例会・勉強会を開催している。例会では、赤十字奉仕団発行のデイジー図書「声のアルバム」で担当の「花時計」「つちのこ」のプログラムの企画や「PHP」の分担などを話し合った他、赤十字奉仕団での各作業班の活動を報告した。14時からは岩佐光世講師の指導の下、朗読力の改善のため勉強会を実施した。

今年度はメンバーの新規獲得のためチラシを作成しHPにも載せていただいた。その効あってかメンバーが4人増え12人になった。8月運営委員会主催の「私のへいわ夏祭り」では「この子たちの夏」を対面朗読した。また、日赤で5年ぶりにリスナーとの交流会が11月23日に開催された。グループで分読している単行図書「本日のメニューは。」の録音作業にも励み、3月に完成した。録音・校正・編集技能の習得・向上のために経験の浅いメンバーには個別に日赤兵庫県支部で指導の時間を設けたり、赤十字奉仕団主催の校正の勉強会や読みの勉強会に参加したりしている。

#### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月23日	第1回例会 (12:30-14:00)	担当からの報告・会員退会の件		7
4月23日	第1回勉強会 (14:00-16:00)	プリント教材	岩佐光世	7
6月25日	第2回例会 (12:30-14:00)	各班の報告・「花時計」10月号準備		8
6月25日	第2回勉強会 (14:00-16:00)	朗読テキスト（童話）	岩佐光世	8
7月23日	第3回例会 (12:30-14:00)	各班の報告・「花時計」10月号準備		9
7月23日	第3回勉強会 (14:00-16:00)	教材（詩）&「この子たちの夏」	岩佐光世	9
8月1日	「PHP」編集（日赤）	「PHP」8月号		3
8月3日	「PHP」編集（日赤）	「PHP」8月号		3
8月19日	私のへいわ夏祭り	「この子たちの夏」朗読練習		5
8月22日	私のへいわ夏祭り	「この子たちの夏」朗読練習		4
8月24日	私のへいわ夏祭り	「この子たちの夏」朗読		5
8月25日	IT勉強会（日赤）	無料サーバーの利用法	足利教治	5
8月27日	第4回例会 (12:30-14:00)	各班の報告・「この子たちの夏」の反省		7
9月14日	「花時計」10月号編集（日赤）	「花時計」10月号		3
9月24日	第5回例会 (12:30-14:00)	各班の報告		8
9月24日	第4回勉強会 (14:00-16:00)	「PHP」10月号担当箇所	岩佐光世	8
10月22日	第6回例会 (12:30-14:00)	各班の報告		9
10月22日	第5回勉強会 (14:00-16:00)	「PHP」11月号担当箇所	岩佐光世	9
11月1日	「PHP」デイジー編集（日赤）	「PHP」11月号		2
11月11日	「PHP」録音（日赤）	「PHP」12月号		2
11月15日	単行図書1次校正（日赤）	「或る洋食屋の一日」		2
11月18日	「PHP」校正（日赤）	「PHP」12月号		2
11月26日	第7回例会 (12:30-14:00)	各班の報告・交流会の反省		9
11月26日	第6回勉強会 (14:00-16:00)	「PHP」12月号担当箇所	岩佐光世	9
11月27日	「PHP」修正録音・校正（日赤）	「PHP」12月号		3
12月24日	第8回例会 (12:30-14:00)	各班の報告		10
1月19日	「PHP」録音（日赤）	「PHP」2月号		2
1月26日	「PHP」修正録音・提出	「PHP」2月号		2
1月28日	第9回例会 (12:30-14:00)	各班の報告		10
1月28日	第7回勉強会 (14:00-16:00)	「PHP」2月号担当箇所	岩佐光世	10
2月16日	新人研修 (10:30-15:00) (日赤)	録音ベースの使用について		6
2月20日	単行図書編集（日赤）	「或る洋食屋の一日」		2

2月25日	第10回例会 (12:30-14:00)	各班の報告		10
2月25日	第8回勉強会 (14:00-16:00)	「つちのこ」5月号担当箇所	岩佐光世	10
2月27日	単行図書編集・「PHP」3月号提出 (日赤)	「或る洋食屋の一日」「PHP」3月号		3
3月9日	親睦会(11:30-13:00)	「農家。うたげ」(三宮)にて		10
3月17日	「PHP」録音 (日赤)	「PHP」4月号		2
3月24日	「PHP」録音 (日赤)	「PHP」4月号		2
3月25日	第11回例会 (12:30-14:00)	各班の報告		8
3月25日	第9回勉強会 (14:00-16:00)	「PHP」5月からの担当箇所	岩佐光世	8
IT班の活動 (日赤) デイジー班の活動 (日赤) 点字班の活動 (日赤) 音訳・朗読を見直す会の活動 (日赤) 単行図書検討会の活動 (日赤) 交流会関係 (日赤) 赤十字奉仕団の総会・運営委員会ほか (日赤)		計8回 計11回 計11回 計8回 計10回 計10回 計14回		16 22 8 8 10 25 28
延参加人数 (全112回)				358

## ジェンダーグループ

代表 : 斎藤明子

メンバー : 6人

### ●活動方針・目標

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会作りを目指す。

### ●活動報告

原則月1回オンラインでのミーティングを実施。

7月に、昨年度3月に行った、メンバー森恭子さんの発題による『ケアの倫理』の勉強会の続編を実施。『ケアの倫理を考える—家族のケアは家族の仕事』を実施。日本社会において女性がケアの部分を担ってしまうことをジェンダーの視点から学び語り合った。

このグループからの発信については、女性が日常生活で感じるジェンダーへの思いや気づきを出し合える場としてのフリーペーパーを今年度も企画した。

3月にはメンバーがジェンダー関連の書店に現地集合し、読書会にむけて本探しを実施した。

### ●活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA会館およびオンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均参加 人数
4月27日	第1回ミーティング	今年度のスケジュール・企画について 感想シェア会「猫と私ともう1匹のネコ」 (元町映画館)に関する活動について	4	16 (全4回)	4
5月18日	第2回ミーティング	「ケアの倫理」企画について	4		
6月29日	第3回ミーティング	上記企画準備	4		
1月15日	第4回ミーティング	こたつ会議、読書会について	4		

### ●実施プログラム等

開催日	プログラム・イベント名 (場所など)	テーマ・主な内容	講師名等	参加 人数
7月15日	講座『誰かの世話をするのは女性の仕事』	ケアの倫理から考える続編	森恭子	8
3月15日	「1003へいこう」	読書会のための本探しをする	メンバー	4
延参加人数 (全2プログラム)				12

## ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 : 寺澤京子

メンバー:5人

## ●活動方針・目標

- ・他団体、グループと協力して、平和構築活動を進める。
- ・学習会などを行い、学び、語り合う。

## ●活動報告

「学ぼう・喋ろう会（その食品、大丈夫？）」を平和活動グループと共に7月28日（日）午後、神戸学生青年センターで開催した。農薬の実態や怖さについて学び、実情を知ることの大切さを実感した。11月3日（日）午後、新メンバーの多田さんを囲み、喫茶エスパワールで今後の活動などについて話し合った。「学び語り合い つながる会」（第16回）は、12月14日（土）午後、「選択的夫婦別姓」をテーマに、喫茶エスパワールで開催した。夫婦で氏を統一しないといけないのは、世界の中で日本だけであり、国連女性差別撤廃委員会から何度も勧告を受けている状況を知り、個人の氏名とアイデンティティについても、掘り下げて語り合うことができた。そして、1月7日（火）午後、多田茉莉絵さんが「ガザ報告」と題して、パレスチナの状況について語ってくださった。

## ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名（場所）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
7月28日	学ぼう・喋ろう会「その食品、大丈夫？」 (神戸学生青年センター)	農薬・遺伝子組み換え	川辺比呂子 (平和活動部と共に)	10
11月3日	今後の活動について話し合い (喫茶 エスパワール)	活動内容・方針など	メンバーでの語り合い	5
12月14日	学び 語り合い つながる会（第16回） (喫茶 エスパワール)	選択的夫婦別姓について	資料提供 寺沢京子	6
1月7日	「ガザ」報告（喫茶 エスパワール）	パレスチナの状況	多田茉莉絵	7
	延参加人数(全4プログラム)			28

## 平和活動グループ

代表：川辺比呂子

メンバー：3人

## ●活動方針・目標

- ・憲法の価値を活かし、広める～社会生活の中で憲法を生かす。
- ・平和で人権が守られる社会実現のため学習し、行動する。
- ・若い人の活動を応援し、次世代につなぐ。
- ・他団体・グループの活動にも参加・協働して、活動の幅を広げる。

## ●活動報告

7月、ピースブリッジと協働で「その食品 大丈夫？」と題して農薬・遺伝子組み換えなどについて「学ぼう・喋ろう会」を開催、10月にはその継続で映画「静かな汚染、ネオニコチノイド」の上映とお喋り会もち、理解を深めた。憲法の価値を広める活動としては、9月、二宮ふれあい給食会で出前講座「憲法のお話」を行い、初めて地域の高齢者と学習・交流の機会をもった。

グループ例会は1~2ヶ月に一度のペースでオンライン開催も含めて6回実施、プログラムの準備、グループ内の学習を行った。学習は広がる憲法無視の状態（国会・三権分立軽視で武器輸出容認、南西諸島の軍事要塞化）をテーマに行った。その他、賛同団体になっている市民デモ HYOGOと共に「5・3兵庫憲法集会」、「斎藤知事の辞職を求める緊急県民集会」に神戸YWCAメンバーにも誘いかけ、参加した。

## ●活動実績

開催日	部会（場所）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月14日	第1回ミーティング (須磨寺・がんちや)	2024年度活動計画 グループ学習会準備	3	22 (全6回)	4
5月25日	第2回ミーティング・学習会 (オンライン)	5月3日憲法集会等の報告、学ぼう・喋ろう会企画 二宮ふれあい給食会プログラム（憲法）参加決定	4		
6月23日	第3回ミーティング (オンライン)	学ぼう・喋ろう会「その食品 大丈夫？」準備 DVD「静かな汚染、ネオニコチノイド」上映会計画	4		
8月29日	第4回ミーティング (オンライン)	学ぼう・喋ろう会「その食品 大丈夫？」振り返り 二宮ふれあい給食会プログラム「憲法のお話」 準備、「静かな汚染、ネオニコチノイド」上映会準備	4		

9月28日	第5回ミーティング (神戸YWCA会館)	二宮ふれあい給食会プログラム振り返り 「静かな汚染、ネオニコチノイド」視聴と上映会準備	4	
12月12日	第6回ミーティング (三宮・英國屋)	2024年度振り返りと2025年度計画 (会員集会に向けて)	3	

### ●実施プログラム等

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数
7月28日	学ぼう・喋ろう会「その食品 大丈夫?」 (神戸学生青年センター)	危険な農薬、化学肥料	共催：平和活動グループ ピースブリッジ	10
10月5日	DVD上映と喋ろう会 「静かな汚染、ネオニコチノイド」 (神戸YWCA会館)	危険な農薬、化学肥料	主催：平和活動グループ	11
延参加人数 (全2プログラム)				21

### ●他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	人数 神戸Y
4月28日	市民デモHYOGO春の交流会 (中央区文化センター)	「ヨーロッパ=ドイツ政治の現状と対抗運動」「今、女性こそ政治に立ちあがらう」学習会班からの報告と提言	講演：木戸一（大阪大学教授） お話：吉本弘子（元寝屋川市議）	1
5月3日	5・3兵庫憲法集会 (みなとのもり公園)	憲法集会	講演：内田樹（思想家・武道家） 主催：戦争をさせない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会	8
9月8日	斎藤知事の辞職を求める緊急県民集会 (県民会館)	斎藤知事をめぐる 兵庫県の問題	対談：佐高信・西谷文和（ジャーナリスト） 共催：「NHKとメディアを考える会（兵庫）」など5団体	7
9月19日	二宮ふれあい給食会プログラム (二宮地域福祉センター)	憲法のお話	主催：ふれあいのまちづくり協議会	3
延参加人数 (全4プログラム)				19

## 夜回り準備会

代表：金本美子

メンバー：10人

### ●活動方針・目標

人権と平和の理念に基づき、対等な関係を引き続き追究し、実現したい。そもそも野宿したくない人が野宿をせざるをえなくなる根源を断つことも意識したい。物価高を上回る賃金の停滞、安保3文書等、悪化する社会の犠牲になる人がいなくなる社会を少しでも目指したい。

### <方向性（暫定版）>

対等な関係を築き、常に、関係を問い合わせ、対象者が、解決したいことを抱えており、ご本人の意思決定が明確であり、夜回りが関わっていいならば、ご本人の意向を丁寧に聞き取り、自分たちのできる限りの見定めをし、同意をとって協働すること。

### ●活動報告

2023年度4月から活動を停止。2024年5月18日に、臨時ミーティング実施。

### <活動停止について>

2022年度に、活動を継続するうえで、いくつかの課題に直面した。まず、実働できるメンバーが減ったことで、「夜回り」を定期的に実施する体制を確保するのに四苦八苦した。メンバーが時間を分けてそれぞれ訪問というかたちで対応することもあった。また、活動に対する見解について、メンバー間で意見がかみ合わないこともあります、その調整にも労力がかかった。加えて、カーシェアの利用が増えたことなどにより費用がかさむ一方で、寄付金が減少したこと、資金面での課題も顕在化した。そういう状態が続く中で、野宿している人に関わる活動を続けるのは、相手に迷惑をかける恐れがあるため、メンバー内での話し合いの結果、2023年度4月以降は当面の間、活動を停止することを決めた。

## ●活動実績

開催日	プログラム名	テーマ・主な内容	参加人数
5月1日	グループ活動についての話し合い (オンライン)	活動の位置づけや会の方向性について、 メンバー同士での認識のすり合わせ	5
延参加人数 (1プログラム)			5

## 環境・くらし委員会

### ●活動方針・活動目標

SDGs（持続可能な開発目標）、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならない課題に、1年かけて取り組んでいく。

## 神福のはしごプロジェクト

代表：山本容子

メンバー：4人

職員：西本玲子

### ●活動方針・活動目標

目的：セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA「com7300 特別委員会」の活動方針に沿って今年度も実施する。コロナ禍も落ち着き、リフレッシュプログラム（保養）に参加する家族が戻ってきてている。変化する状況を見据えながら、これまでのつながりを活かし、互いに励ましあう関係を深めたい。そして、神戸と福島の新たな関係づくりにつなげていく。

### ●活動報告

ミーティングは、不定期開催で1か月1回程度実施。

セカンドハウス・プログラム（放射能被災下に生活する家族の一時保養）は春休みと夏休みに3家族11人の利用があった。

はしごプロジェクトとしては、福島を忘れないため、また私たちの学びを深める目的でオンラインでのお話を2回開催。第1回半澤敦子さん（元福島YWCA会員、現在子ども食堂に関わる）と、第2回岩本美智子さん（社会福祉士。語り部として活動している）にお話していただいた。

## ●活動実績

開催日	ミーティング (オンライン)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参 加人数
7月21日	第1回委員会	たらちねプログラム参加者の報告、 24年度具体的な活動計画検討	5	42(全7回)	6人
8月9日	第2回委員会	セカンドハウス利用者の報告 24年度はしごプログラム案検討	6		
9月28日	第3回委員会	はしごプログラムお話会についての意見交換	6		
10月26日	第4回委員会	オンラインお話会企画の検討	6		
11月15日	第5回委員会	オンラインお話会企画打ち合わせ	6		
12月16日	第6回委員会	オンラインお話会について、講師と打ち合わせ	7		
12月26日	第7回委員会	オンラインお話会について、講師と打ち合わせ (タイムスケジュール、役割分担、広報など)	6		

## ●実施プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (全てオンライン)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加
1月18日	オンラインお話会① 「今の福島を知る」	震災14年を迎える福島で 生きてています	半澤敦子 (子ども食堂運営)	6
3月15日	オンラインお話会② 「今の福島を知る」	ありのままの福島 2025年	岩本美智子 (東日本大震災伝承館語り部)	8

開催日	プログラム・イベント名（場所）	テーマ・主な内容	参加人数	スタッフ
8月1日～5日	住吉セカンドハウス (神戸市東灘区)	福島およびその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れを実施。 ①出迎えとお見送り ②交流 ③出迎えのための準備や滞在後の片付け・清掃	4	5
2月22日～25日			4	5
3月20日～25日			3	2
延参加人数(オンラインお話し会全2回／セカンドハウス全3回)		お話し会 14人 セカンドハウス 11人	12	

### ●他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数 (神戸YWCA)
3月9日	講演会とたらちね活動報告会	ヒロシマ・ナガサキから80年原子力開発と核被害の歴史を振り返る	講師 今中哲二 認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね	3

### カウンターカルチャー・プロジェクト

代表：鶴崎祥子

メンバー：3人

職員：西本玲子

### ●活動方針・活動目標

YWCAが常にテーマとしてきた、カウンターカルチャー（メインカルチャーにとって代わり得る、ポテンシャルをもつカルチャー（あるいはオルタナティブ・カルチャー）を改めて考え学び生きる。

### ●活動報告

当初、2024年11月の日本YWCA全国総会への参加が活動目標であったが、計画を変更。新たな企画として、会員の福田百さんのお話し会「現地からモモが語る！エルサルバドル伝書鳩」を10月26日にオンラインで開催した。福田さんはJICA海外協力隊としてエルサルバドルに赴任中で、現地の情勢や女性の生き方を話され、また彼女の社会変革への信念も聞くことができた。

### ●活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA会館および オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均参加 人数
7月22日	第1回ミーティング	今年度の企画検討。当初企画していた日本YWCA総会へ参加する計画は参加者が少なく、計画変更とする。	4	8 (全2回)	4
9月2日	第2回ミーティング	新企画としてエルサルバドルと日本をZOOMでつなぐ「お話し会」を企画	4		

### ●実施プログラム等

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師名等	参加 人数
10月26日	オンライン 「現地からモモが語る！ エルサルバドル伝書鳩」	海外青年協力隊として赴任中のメンバーと日本をZOOMでつなぎ現地での活動の様子や生活について聞く。	福田百（JICA海外協力隊／エルサルバドル赴任中）	20
延参加人数（全1プログラム）				20

<グループ>

讃美歌を歌おうかい

代表：中尾廣美、大工原則子

メンバー：4人

### ●活動方針・目標

讃美歌に親しみ、共に楽しく歌う。

### ●活動報告

8月を除く毎月、参加者で共に讃美歌を歌ってきた。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月2日	第1回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21より 296, 297, 298, 299, 300	橋本静子	5
6月6日	第2回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21より 502, 504, 506, 507, 353, 536	橋本静子	3
9月5日	第3回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21より 454, 455, 456, 457, 458, 459	橋本静子	3
10月3日	第4回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21より 460, 461, 462, 463, 464, 465, 466	橋本静子	4
11月7日	第5回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21より 475, 481, 482, 483, 484	橋本静子	4
12月7日	第6回 讃美歌を歌おうかい	神戸YWCAクリスマスに参加		4
2月1日	第7回 讃美歌を歌おうかい	休会		0
3月7日	第8回 讃美歌を歌おうかい	休会		0
延参加人数（全8プログラム）				23

## 聖書を読む会

代表：中尾廣美、大工原則子

メンバー：4人

### ●活動方針・目標

聖書の学びにより、イエス・キリストの愛と平和が広がるように願う。

### ●活動報告

8月を除く毎月、参加者で聖書を読んできた。今年度はディビッド・マッキンタイヤ牧師をお迎えして、スウェーデン方式で聖書を読む方法を学んだ。新しい方法をさらに学びながら参加者が増えるように考えたい。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月2日	第1回 聖書を読む会	スウェーデン方式で聖書を読む マルコによる福音書2章1~12節	デビッド・マッキンタイヤー	6
6月6日	第2回 聖書を読む会	スウェーデン方式で聖書を読む マルコによる福音書1章1節~11節	メンバー	10
7月4日	第3回 聖書を読む会	スウェーデン方式で聖書を読む マルコによる福音書1章12節~20節	メンバー	4
9月5日	第4回 聖書を読む会	ヨハネによる18~20章	メンバー	2
10月3日	第5回 聖書を読む会	使徒言行録1~5章	メンバー	3
11月7日	第6回 聖書を読む会	使徒言行録6章~	メンバー	3
12月7日	第7回 聖書を読む会	神戸YWCAクリスマスに参加	メンバー	4
2月1日	第8回 聖書を読む会	休会		0
3月7日	第9回 聖書を読む会	休会		0
延参加人数（全9プログラム）				32

## 文学講座

代表：中尾廣美

メンバー：4人

### ●活動方針・目標

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・清少納言の「枕草子」を完結まで読む。

### ●活動報告

毎月(8月を除く)第3火曜日13時30分より神戸YWCA会館で実施している。笠原芳光さん亡き後も有志で自主勉強している。2017年より読みついできた「枕草子」を読み終え「更級日記」を読み始めている。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月16日	第1回文学講座	枕草子 319段 読み終えた！	メンバーで自主勉強	5
5月21日	第2回文学講座	話し合い		5
7月16日	第3回文学講座	更級日記に決定した		5
10月15日	第4回文学講座	更級日記13		5
11月19日	第5回文学講座	京都散策		5
12月18日	第6回文学講座	更級日記22		5
1月28日	第7回文学講座	更級日記35		5
2月18日	第8回文学講座	更級日記46		5
3月18日	第9回文学講座	更級日記55		5
延参加人数 (全9プログラム)				45

## ユース・エンパワメント委員会

### ●活動方針・活動目標

多世代協働、多世代エンパワーメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今までなければならない課題に、1年かけて取り組んでいく。

## こども〇〇いいんかいプロジェクト

代表：木村文子

おとな委員：3人

こどもいいん：3人

職員：西本玲子

### ●活動方針・活動目標

こどもが〇〇することを、おとなが応援するプロジェクト。〇〇には様々な言葉が入るので〇〇を名称にしている。家庭、学校、塾や習い事ではない場で、知らないおとなど出会い、活動を知る。こどもが体験や経験することで育っていく「土壌」＝プラットフォームとなる。トライやるウイークの神戸YWCA版。

### ●活動報告

委員会として2つのグループの所属がきまり、こどもたちの社会活動への参加、体験を目標にした。所属グループのひとつである愛農人俱楽部の農作業体験に参加してみることから始めてみたが、月に一回日曜日の活動への参加調整から難航を極めた。子どもの課外活動参加のための参加申し込みシステムや安全対策を考える時間を作ることも叶わず、参加までの準備ができなかつた。

メールのやり取りのみでミーティングができず、実際の活動につなげるための準備ができなかつた。プロジェクト活動のためには一定の人員の確保、システム構築上必要なミーティング時間の確保などいくつもの準備を経て活動につながることを個々の感覚で持ち合わせるのでなく、視覚化などで共有し、ワントップだけで進めない形を作る必要もあるのではないかと考える。現時点では体制が整えられず、プロジェクトは2024年度で終了する。

## <グループ>

### 愛農人俱楽部

代表：大石知世子

メンバー：3人

#### ●活動方針・活動目標

完全無農薬有機栽培の野菜づくりを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。

#### ●活動報告

月1回・第2日曜日を神戸市北区道場・風キャビン農園で昨年度と同様に定例会で実施。コロナ緩和で通常生活となり、個人の自由でマスク着用がある位で通常の畑作業に戻った。今年はメンバーの子どもたちもおとなと共に畑作業内容を把握して行動し、土を盛り上げて作る畠作りを任せられるようにまでなった。かつてはコロナが徐々に緩和時期の畑で作業せずに携帯ゲームを延々とやっていた時期があったので、活動を通して子どもたちの成長を感じた。また、以前ビジターでよく参加されていたメンバーのお子さんが中学3年生で再び一人で畑に参加があった事は、来年度に続く新たな可能性を感じられた。今年は異常気象により10月まで気温が下がらなかったため、春に芽が出る野菜が急速に成長したり雑草が生えてきたりと育てている野菜見て異常気象を実感できた。2025年度は野菜販売の機会を増やし、また今までと同じく自然と共に楽しく活動していきたいと思う。

#### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	テーマ・主な内容	参加人数
4月14日	第1回定例会	じゃが芋、玉葱の世話、	5
5月12日	第2回定例会	じゃが芋追肥、人参の世話、苺収穫、草刈り苺肥料やり	4
6月11日	有志で作業	さつま芋苗植付け、玉葱収穫	1
7月9日	有志で作業	夏野菜の世話、草刈り	6
7月29日	有志で作業	草刈り、じゃが芋収穫	1
9月10日	第3回定例会	草刈り、じゃが芋、人参宝さがし ご近所さんよりいただいた大根と蕪の苗植付け	4
10月13日	第4回定例会	草刈り、さつま芋と蔓の収穫、にんにく植付け	5
11月10日	第5回定例会	玉葱苗植付け、スナップエンドウ種蒔き	4
11月24日	MOGMOG キャビン豊年祭	餅つき、ピザ焼き、新米炊き出し、汁物等食と農を楽しむ	3
12月8日	第6回定例会	玉葱、にんにくの追肥、スナップエンドウの世話	5
1月12日	第7回定例会	玉葱、にんにくの追肥	4
3月9日	第8回定例会	玉葱、にんにくの追肥と中耕	4
延参加人数（全12プログラム）			46

## マザースカレッジ企画会

代表：貫名裕子

メンバー：7人

#### ●活動方針・目標

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、おとなが本と出合うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

#### ●活動報告

コロナ禍の影響もほぼなくなり、順調に予定の講座が開催された。年7回開催の大月先生の研究会もますます学びを深めた。永らく詩に親しんできたメンバーに、大月先生から詩についての特別講座があり、楽しく学んだ。また、ご指導くださった大月先生が今年度をもって退かれる。来年度からは講師ではなく見守る立場でのご参加になった。年6回の芦田先生の研究会では、昔話や児童文学だけでなく、現代史の大きな出来事を語った『自由への長い道』を夏休みに取り上げた。南アフリカの出来事ではあるが、実際に若い頃見聞きした人が多く、いつもと違った学びになった。今までマザースカレッジのメンバーによる運営だったが、来年度から研究会のメンバーがマザースカレッジ貫名と三人で運営を担当することになった。真生塾は、4人の担当者が隔月訪れておはなし会をしているが、子どもたちも馴染んできたようなので毎月も対応

可能と提案した。しかし、3月末の訪問の際に子どもの数が減ったことや、週末には家庭に帰る子どもが増えたことによりおはなし会に参加する子どもが減少したので、一旦休止と伝えられた。

#### ストーリーテリング芦田先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (兵庫県民会館交流プラザ)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月27日	第1回	おはなし、詩実践	芦田悦子	21
7月22日	第2回	おはなし、詩実践	芦田悦子	18
9月30日	第3回	課題本『自由への長い道』『山の上の火』	芦田悦子	18
11月25日	第4回	おはなし、詩実践	芦田悦子	17
2月3日	第5回	おはなし、詩実践	芦田悦子	21
3月24日	第6回	課題本『つばさの贈り物』『やかまし村』シリーズ	芦田悦子	14
延参加人数 (全6プログラム)				109

#### ストーリーテリング大月先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (神戸市青少年会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月24日	第1回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	24
6月28日	第2回定例会	『児童文学論』『宝島』『たのしい川べ』『	大月ルリ子	21
9月27日	第3回定例会	『児童文学論』「詩について」大月先生講演、詩の実践	大月ルリ子	23
10月25日	第4回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	21
11月22日	第5回定例会	『詩を読む若き人のために』『幼い子の文学』詩の実践	大月ルリ子	21
1月24日	第6回定例会	『児童文学論』詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	25
2月28日	第7回定例会	『児童文学論』絵本読み聞かせ、詩の実践	大月ルリ子	26
延参加人数 (全7プログラム)				161

#### 神戸真生塾

開催日	プログラム・イベント名 (神戸真生塾)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				子ども	先生
6月16日	おはなし会			3	2
9月15日	おはなし会			3	2
11月16日	おはなし会			3	2
1月19日	おはなし会			2	1
3月16日	おはなし会			4	3
延参加人数 (子ども／先生別)				15	10
延参加人数(全5プログラム)				25	

## II 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

#### 神戸YWCAまごの手

所長 寺内真子

<居宅介護支援事業>

管理者 福嶋佳子

ケアマネジャー 福嶋佳子

<訪問介護事業>

管理者 藤井かえ子

サービス提供責任者 藤井かえ子、山田司、松尾玲子、野村春美（パートタイム）、加藤純子（11月～）

子育て支援コーディネーター 藤原道子

常勤ヘルパー 加藤純子（～10月）、青木直子（11月～）

パートタイムヘルパー 清靖代（7月～）

事務パートタイム職員 湯朝律子、島村正

登録ヘルパー 有馬恵子（12月～）、浦川喜代美、大前美紀、大巻智子、奥乃恵美子、小野美津江、

加東みどり、木村房代、久保田三鈴、斎藤美智、島村正、鈴木泰子、鈴木由希子、鈴木嘉一、高原佐美、竹内眞理子、谷口真弓、成田光晴、成美久美、林和代、福島光枝、前田豊子、松岡晴子、丸井和子、三木二三子（～5月）、宮崎公子、宮田泰子、森本眞知子、守屋淑子、吉田里子

登録ヘルパー（同行援護従業者）山下尚美、渡辺正彦

登録ヘルパー（産前産後ヘルパー）木村文子、佐伯佳子

（登録ヘルパー：34人）

#### <居住支援事業>

担当職員 寺内真子

相談員 宮田泰子、岩切幸子、野村春美

### ●事業方針・目標

#### <訪問介護事業>

1. 助けを必要とする人々に寄り添う支援を目指す

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続できるよう、訪問介護員を派遣して身体介護、生活援助等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、子育て支援員を派遣して家事援助や育児支援を行う。利用者一人ひとりに寄り添い、可能な限り切れ目のない支援を提供する。

2. 地域福祉を支え、協働する

神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。地域包括ケアを目指して、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所などと連携を強化する。

3. エンパワーメントし合える職場にしていく

ニーズに応えられるよう、サービスの担い手となる人材を確保し、育成する。職員やヘルパーが介護福祉の担い手として地域社会で活躍していくよう、キャリアアップを支援し、ストレスマネジメントにも留意し、誰もが働きやすい職場にしていくことを目指す。

#### <居宅介護支援事業>

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援を実施する。

1. 利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。

2. 地域包括ケアを目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。

3. 神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。

4. 質の高いサービスを提供できるよう、研修を充実させ、研鑽を積む。

#### <居住支援事業>

誰もが地域の中で自分らしい暮らしを安心して続けることができるよう、地域包括ケアを推進する中で、人々の暮らしの基盤となる住まいについて、支援を要する方に対して、その確保から安心して住み続けるための支援、退去時までの支援を行う。

#### <わいわいデイルーム>

・感染症予防につとめて、介護予防に資するプログラムを提供する。

・高齢者ができるだけ長く、生き生きとした豊かな住宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。

・神戸YWCAの他の事業、会員活動グループと交流することにより、多世代・多文化とのふれあいを提供する。

・地域の中で、利用者が安心して住宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉などの専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

### ●事業報告

#### <訪問介護事業>

今年度の介護報酬改定では、訪問介護の基本報酬がマイナス改定、処遇改善加算はプラス改定という状況でスタートした。処遇改善加算の割合が増加するため、6月からの改定に先んじて4月から賃金改悪を行った。

7月から新たにパートタイムヘルパー1人を採用、10月から常勤ヘルパー1人がサービス提供責任者になり、11月からパートタイムヘルパー1人が常勤ヘルパーとなり、また、12月から新たに登録ヘルパーを採用した。介護職員の人材確保が難しい社会情勢の中で、うれしいことであった。

今年度から掲げた「エンパワーメントし合える職場」という目標のもと、チームワークが醸成された。今年

度は高齢者介護士認定試験や同行援護資格取得の研修等に職員が参加した。小規模事業所ではあるが、外部研修にも職員を送り出すことができるよう、引き続き体制づくりを行っていく。

今年度末で管理者と子育て支援コーディネーターの常勤2人が退職することになった。次年度の新たな体制に向けて準備を行った。

訪問介護は、暑さ寒さや雨天においても自転車や徒歩で、1日数件の利用者宅を回るため、体力的にも精神的にも厳しい業務である。働き手の心身の健康が守られるよう留意し、より多くの利用者の生活を支えることができるよう、今後も職員ヘルパーともに支え合って歩みたい。

#### <居宅介護支援事業>

居宅介護支援事業は、前年度に管理者が退職したことにより、管理者に必要な主任ケアマネを取得、ケアマネジャー（管理者兼務）1人体制となっている。居宅介護支援は月平均24.1件、介護予防支援（委託）は月平均5.3件であった。

ケアマネジャーは、一人暮らし高齢者が増加する地域において、多岐に渡る業務を担っている。一方で居宅介護支援には処遇改善加算がつかない。このような社会情勢の中で、ケアマネジャー不足が深刻化しており、新規の依頼が増えている。他事業所や関係者からの紹介やあんしんすこやかセンターからも依頼があり、今後、適時受けていく。

#### <居住支援事業>

2019年に開設した住まいの相談窓口に寄せられる相談件数は年々増加し、相談件数、入居成約件数とともに、昨年1年間の件数を上回っている。住居を探してほしいという新たな相談は月平均3件を超える。継続的に相談を受けている人と合わせると、入居前支援では、月10人ほどに対応している。今年度は39件の相談を受け、前年度から引き続きの支援8人と合わせて、47人の相談に対応し、18人の住居を確保することができた。

相談に来る人は、高齢者と障害者の割合が多く、低所得で生活困窮状態である人がほとんどである。居住支援では住宅確保のみならず、引越し時の支援、生活保護や福祉サービスに繋ぐなど、入居後を見据えた支援体制をつくっている。入居後も種々の相談に対応し、居場所づくりなどを行っている。

近畿大寺川教授の支援で、月1回の居住支援ネットワーク会議を開催。不動産事業者や支援団体が参加し意見交換している。3月9日には「居住支援ネットワーク座談会“ソーシャル不動産のススメ”」を開催し、社会的不動産の重要性を再確認し、課題を共有した。また、今年度は、所属するひょうごん福祉ネット居住支援部会が中心となり、ひょうごん福祉ネット居住支援連絡会を立ち上げ、兵庫県との連携をはかっている。

#### <わいわいデイルーム>

毎週火曜日10時30分～14時30分、46回実施した。リーダー4人でプログラムを進行した。利用者は前年からの継続者5人でスタート。利用者募集のため、チラシを新しく作成し、近郊のあんしんすこやかセンターや周辺の集合住宅に配布したところ、広報効果がみられ、近隣住民の申し込みが増えた。三宮あんしんすこやかセンターからの紹介や参加者の口コミもあり、8月までに登録者は一気に13人になった。現在登録14人、平均参加人数は9人であった。今年度から委託事業実施時間、基本委託料等の見直しのため大幅に委託料が削減されたこともあり、プログラム内容の見直しが必至であった。神戸市派遣講師による「必須プログラム」を5回、音楽療法士や健康運動指導士などの専門職による「任意プログラム」を18回行った。YWCA会員が、ピアノリサイタルや書道教室、ストーリーテリングを行った。また、外部講師によるストレッチ、朗読、絵画・クラフト教室など、毎回バラエティに富んだレクリエーションを行った。神戸市からの要請である「利用者積極的参加型の会」になるよう、利用者には、可能な限り運営のお手伝いやプログラム企画にも参加していただいた。9月の保育園園児との交流会ではプレゼント交換や歌を歌って過ごした。昨年度から引き続き保育園の昼食の汁物を提供している。今後も近隣のあんしんすこやかセンターと連携して登録者を増やしたい。

### ●事業実績

#### まごの手職員会・プログラム・イベント等

プログラム、ミーティング等（神戸YWCA会館）	在籍数	回数
まごの手職員会	10	12

### ●事業データ

サービス種類		2022年度 月平均	2023年度 月平均	2024年度 月平均
居宅介護支援事業	居宅介護支援	件数	44.0	26.8

	介護予防支援/ 介護予防ケアマネジメント(委託)	件数	12.9	6.4	5.3	
	件数計		56.9	33.2	29.4	
訪問介護事業	訪問介護	利用時間数	468.0	503.6	470.3	
		利用者数	37.2	40.9	37.2	
	介護予防訪問サービス(総合事業)	利用時間数	296.1	286.1	261.6	
		利用者数	49.3	48.4	45.5	
	生活支援訪問サービス(総合事業)	利用時間数	0.6	1.4	0.0	
		利用者数	0.5	1.0	0.0	
障害福祉事業	障害福祉サービス(居宅介護)	利用時間数	107.5	128.7	135.6	
		利用者数	11.8	12.8	13.8	
	障害福祉サービス(重度訪問介護)	利用時間数	1.3	3.3	4.3	
		利用者数	0.3	1	1.0	
	障害福祉サービス(同行援護)	利用時間数	55.5	67.4	82.8	
		利用者数	7.6	9.3	10.1	
地域支援事業	障害福祉地域支援事業(移動支援)	利用時間数	28.6	44.6	59.8	
		利用者数	1.8	4.6	6.0	
	神戸市養育支援訪問事業 (産前・産後ヘルパー派遣)	利用時間数	65.3	65.8	78.6	
		利用者数	17.5	18.8	22.9	
	神戸市養育支援訪問事業 (養育支援ヘルパー派遣)	利用時間数	上記に含む	6.3	7.1	
		利用者数	上記に含む	1.1	0.8	
その他	ホームヘルプ(自費)	利用時間数	67.8	65.7	39.3	
		利用者数	17.3	17.5	17.5	
	産前産後ホームヘルプ(自費)	利用時間数	11.9	3.1	0.0	
		利用者数	2.7	1.4	0.0	
	神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業 (ほっとヘルパーサービス)	利用時間数	15.4	0.0	0.0	
		利用者数	1.3	0.0	0.0	
利用時間数 月平均			1,117.9	1,187.3	1,157.8	
利用者数 月平均			143.7	158.0	158.2	

\*障害福祉サービス(同行援護)に地域支援事業の就労特別支援を含む

#### 内部研修(訪問介護事業所・全体)

開催日	内容(全て、神戸YWCA会館)	講師等	回数	出席者数
4月27日	介護保険・障害福祉サービス報酬改定	藤井かえ子	1	14+職員
5月25日	福祉用具について	長谷川 フランスベッドメディカル	1	14
6月22日	介護技術研修 褥瘡予防	小野美津江	1	11
7月	レポート 接遇・コミュニケーションについて	藤井かえ子	1	26
8月24日	災害時における対応について	藤井かえ子	1	26
9月28日	高齢者虐待防止研修	藤井かえ子	1	29
10月19日	利用者に寄り添うこと ～たましいのケア～	藤井理恵 (淀川キリスト教病院 チャップレン)	1	19
11月18日	レポート 職業能力評価シート		1	29
12月21日	感染症対策	感染症予防委員会	1	22
1月18日	認知症について	藤井かえ子	1	13
2月22日	介護保険制度・障害福祉制度について	藤井かえ子	1	11
3月22日	ヘルパー登録説明会／研修会 倫理と法令遵守、プライバシー保護他	藤井かえ子	1	30

#### 外部研修/他団体関係(訪問介護事業所)

開催日	内容	主催	回数	出席者数
6月15日、29日	2024年度YWCA職員研修(1~3年目) (オンライン)	日本YWCA	1	1
11月28日、12月26日、3月5日	認知症介護基礎研修 (オンライン)	認知症介護研究・研修仙台センター	3	3
6月13日、14日、21日、27日	同行援護従業者養成研修(一般課程) (神戸アイライト協会)	中山視覚福祉財団 神戸アイライト協会	1	1

2月21日、27日 28日	同行援護従業者養成研修（応用課程） (神戸アイライト協会)	中山視覚福祉財団 神戸アイライト協会	1	1
7月19日、8月2日 8月19日、9月4日	神戸市高齢者介護士講習会 (こうべ市民福祉交流センター)	神戸市介護サービス協会	1	2
10月18日	中央区ケアマネジャー・訪問介護連絡会 (神戸市中央区役所)	中央区訪問介護事業所連絡会	1	2
10月23日	在宅における感染予防対策研修会 平時から実践する感染対策の基本 (神戸市医師会館)	中央区医療介護サポートセンター	1	1
1月29日	持続可能な訪問介護のために ～令和6年度の改正を乗り越える～ (三宮コンベンションセンター)	神戸市シルバーサービス事業者連絡会 訪問介護分科会	1	1

### 実習受け入れ

開催日	内容	実習指導	回数	参加者数	実習生数
12月13日	クウネル介護センター 公共職業訓練 実務者研修課程 第1実習	藤井かえ子	1	-	1
2月3日	神戸女子大学 2024年度福祉実習教育研究会	-	1	1	-
2月12日、13日、 17日、18日、19日	神戸女子大学 介護福祉実習	藤井かえ子	1	-	2

### 内部研修・外部研修（居宅介護支援事業所）

開催日	内容（場所など）	主催	回数	出席者数
8月1日	中央区ケアマネジャー連絡会 (中央区役所)	神戸市中央区保健福祉部保健福祉課 中央区地域ケアネットワーク連絡会議 介護支援専門員部会	1	1
9月28日	高齢者虐待防止研修 (神戸YWCA会館)	神戸YWCA まごの手	1	1
11月14日	中央区ケアマネジャー、デイサービス、 デイケア交流・研修会 (中央区役所)	神戸市中央区保健福祉部保健福祉課 中央区地域ケアネットワーク連絡会 介護支援専門員部会	1	1
12月11日	中央区高齢者虐待防止ネットワーク 研修会 (中央区役所)	中央区保健福祉部健康福祉課	1	1
12月12日	若年性認知症診断後のサポート構築 多職種協同で取り組む生活支援 (神戸大学医学部附属病院 新緑会館)	神戸大学医学部付属病院 神戸市認知症疾患医療センター (認知症センター)	1	1
1月16日	中央区ケアマネジャー連絡会 (中央区役所)	神戸市中央区保健福祉部保健福祉課 中央区地域ケアネットワーク連絡会 介護支援専門員部会	1	1

### 入居前の支援（居住支援事業）

窓口	2022年度 相談者数	2023年度 相談者数	2024年度 相談者数
相談窓口（電話）	33	40	39
前年度からの継続相談件数	2	3	8
面談（来所・訪問等）	25	28	31
不動産店への同行・コーディネート	18	23	27
住宅確保（成約）	11	9	18
緊急連絡先の確保	2	2	2

### 入居中の支援（居住支援事業）

支援内容	2022年度 回数（利用者数）	2023年度 回数（利用者数）	2024年度 回数（利用者数）
見守り・生活支援・入居中の相談等	88(18)	103(9)	121(19)
社会参加のための支援・他団体との連携等	(3)	(2)	(6)

### ミーティング・広報（居住支援事業）

開催日・発行日	名称	在籍数	回数
5月27日、6月24日、7月22日、 10月7日、11月11日、12月2日 1月20日、2月17日、3月17日	居住支援ミーティング (神戸YWCA会館)	4	9
11月18日	ニュースレター第3号の発行	4	2

### ネットワーク／セミナー（居住支援事業）

開催日	名称	参加者数	回数
5月16日、8月29日、9月19日 10月9日、11月7日、12月5日 1月9日、2月6日、3月6日	居住支援ネットワーク会議 (オンライン) 主催：神戸YWCAまごの手、近畿大学建築学部寺川研究室	—	12
6月25日	居住支援ネットワーク会議 (中央むつみ会)	9	1
3月9日	居住支援ネットワーク座談会 “ソーシャル不動産”のススメ 登壇者：松浦亮輔（ノーザン・テンポ株式会社） 坂井宗月（中央むつみ会） 寺内真子（神戸YWCA） オブザーバー：斎藤瞳（アオバ住宅社） コーディネート・司会：寺川政司（近畿大学建築学部） (神戸YWCA会館・オンライン)	35	1
	ひょうごん福祉ネット 居住支援部会		
1月7日	第1回ひょうごん福祉ネット居住支援連絡会 (神戸YWCA会館)	17	1

### 外部研修／他団体関係（居住支援事業）

開催日	内容（場所）	主催	回数	神戸Y 出席者（総数）
8月1日	居住支援シンポジウム2024 「身寄りのない高齢者支援について」 (神戸市中央区文化センター)	神戸市居住支援協議会	1	3
8月16日	令和6年度居住支援委員会拡大会議 「居住支援法人と自治体との連携について」 (ラッセホール)	ひょうご住まいづくり協議会	1	1
9月19日	改正住宅セーフティネット法等に関する全国説明会 ～住宅と福祉のより一層の連携に向けて～ (グランキューブ大阪)	国土交通省住宅局 厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室	1	1
11月22日	令和6年度居住支援団体研修会 「居住支援団体同士の連携と他都市の先進事例の紹介」 (ラッセホール)	ひょうご住まいづくり協議会	1	1
1月23日	令和6年度居住支援団体活動報告会 「残置物処理について」 (ラッセホール)	ひょうご住まいづくり協議会	1	2
2月19日	居住サポート住宅を考える研修会 (オンライン)	NPO法人抱樸	1	1

## 外部研修/他団体関係（全体）

開催日	内容（場所）	主催	回数	延出席者数
6月2日	ひょうごん福祉ネット 総会 (東灘地域助け合いネットワーク)	ひょうごん福祉ネット	1	1
5月2日、7月4日、9月5日、 11月7日、1月9日、3月6日	ひょうごん福祉ネット 定例会 (東灘地域助け合いネットワーク)	ひょうごん福祉ネット	6	4
4月11日	ひょうごん福祉ネット 役員会 (東灘地域助け合いネットワーク)	ひょうごん福祉ネット	1	1
11月26日	ひょうごん福祉ネット 生活支援部会 学習交流会 (東灘地域助け合いネットワーク)	ひょうごん福祉ネット	1	1
1月10日	ひょうごん福祉ネット 生活支援部会 神戸市福祉局介護保険課との意見交換会 (東灘地域助け合いネットワーク)	ひょうごん福祉ネット	1	2

## ●わいわいデイルーム実績表

開催日	プログラム・イベント名 (全て神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名 サービス責任者名	参加人数	
				利用者	スタッフ
4月2日	第1回わいわいデイルーム	介護予防教室/理学療法士 家庭で役立つリハビリテーション	講師：上米良可奈子 サービス責任者：新井育子	5	4
4月9日	第2回わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：今井香織	6	5
4月16日	第3回わいわいデイルーム	介護予防教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：川上和恵	8	5
4月23日	第4回わいわいデイルーム	クラフト/折り紙講師 兜とこいのぼり	講師：徳岡和美 サービス責任者：高原佐美	9	5
5月7日	第5回わいわいデイルーム	介護予防教室/看護師 フレイルについて	講師：東雲診療所 サービス責任者：新井育子	9	4
5月14日	第6回わいわいデイルーム	介護予防教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	9	3
5月21日	第7回わいわいデイルーム	クラフト/バネ人形作り ピアノ演奏と歌唱	講師：青柳 正 演奏：橋本静子 サービス責任者：高原佐美	9	4
5月28日	第8回わいわいデイルーム	警報のため中止		0	0
6月4日	第9回わいわいデイルーム	介護予防講座/管理栄養士 認知症予防の食事	講師：濱田真理 サービス責任者：新井育子	10	5
6月11日	第10回わいわいデイルーム	介護予防教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：今井香織	11	6
6月18日	第11回わいわいデイルーム	笑いヨガ ピアノ演奏と歌唱	講師：植田あや子 演奏：橋本静子 サービス責任者：川上和恵	9	6
6月25日	第12回わいわいデイルーム	クラフト/折り紙講師 うちわをアジサイで飾ろう	講師：徳岡和美 サービス責任者：高原佐美	8	6
7月2日	第13回わいわいデイルーム	介護予防教室/看護師 夏の健康管理	講師：東雲診療所 サービス責任者：新井育子	9	4
7月9日	第14回わいわいデイルーム	介護予防教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	9	5
7月16日	第15回わいわいデイルーム	アートで認知症予防 ピアノ演奏と歌唱	講師：杉原伊津子 演奏：橋本静子 サービス責任者：高原佐美	10	5
7月23日	第16回わいわいデイルーム	音楽療法士による レクリエーション	サービス責任者：川上和恵	10	6
7月30日	第17回わいわいデイルーム	介護予防講座/薬剤師 誘眠剤について	講師：横町朋子 サービス責任者：高原佐美	11	5
8月13日	第18回わいわいデイルーム	介護予防教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：新井育子	10	4

8月20日	第19回わいわいデイルーム	介護予防講座/歯科衛生士 ピアノ演奏と歌唱	講師：二見真由美 演奏：橋本静子 サービス責任者：高原佐美	12	5
8月27日	第20回わいわいデイルーム	みんなで朗読	講師：田中和美 サービス責任者：川上和恵	12	5
9月3日	第21回わいわいデイルーム	介護予防教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	10	5
9月10日	第22回わいわいデイルーム	介護予防教室/理学療法士	講師：上米良可奈子 サービス責任者：今井香織	9	5
9月17日	第23回わいわいデイルーム	クラフト/園児へのプレゼント 保育園との交流	講師：青柳 正 サービス責任者：川上和恵	9	5
9月24日	第24回わいわいデイルーム	絵手紙 お正月はがきを描こう	講師：湯浅美樹 サービス責任者：高原佐美	9	6
10月1日	第25回わいわいデイルーム	介護予防講座/理学療法士 転倒予防について	講師：小田桐 サービス責任者：新井育子	11	4
10月8日	第26回わいわいデイルーム	介護予防教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：今井香織	8	6
10月15日	第27回わいわいデイルーム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：川上和恵	13	5
10月22日	第28回わいわいデイルーム	アートで認知症予防	講師：杉原伊津子 サービス責任者：高原佐美	11	5
10月29日	第29回わいわいデイルーム	ストーリーテリング その他 体操・ゲーム	語り：貫名裕子 サービス責任者：新井育子	10	6
11月5日	第30回わいわいデイルーム	介護予防教室/理学療法士	講師：上米良可奈子 サービス責任者：高原佐美	10	5
11月12日	第31回わいわいデイルーム	クラフト/粘土細工 干支づくり	講師：新井育子 サービス責任者：今井香織	11	6
11月19日	第32回わいわいデイルーム	介護予防教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：川上和恵	10	5
11月26日	第33回わいわいデイルーム	クラフト みかんアート	講師：青柳 正 サービス責任者：高原佐美	8	5
12月3日	第34回わいわいデイルーム	介護予防教室/看護師 冬の健康管理	講師：東雲診療所 サービス責任者：新井育子	9	5
12月10日	第35回わいわいデイルーム	介護予防教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	9	6
12月17日	第36回わいわいデイルーム	クリスマス会	サービス責任者：川上和恵	10	5
1月7日	第37回わいわいデイルーム	二胡演奏	演奏：アジサイ合奏団 サービス責任者：新井育子	8	4
1月14日	第38回わいわいデイルーム	介護予防教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	7	5
1月21日	第39回わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：川上和恵	7	4
1月28日	第40回わいわいデイルーム	ストレッチ体操 ピアノ演奏と歌唱	講師：中川郷子 演奏：橋本静子 サービス責任者：高原佐美	11	6
2月4日	第41回わいわいデイルーム	介護予防講座/看護師 こころの健康について	講師：浦上久美子 サービス責任者：新井育子	11	4
2月18日	第42回わいわいデイルーム	介護予防教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：川上和恵	11	5
2月25日	第43回わいわいデイルーム	折り紙/お雛様を飾ろう ピアノ演奏と歌唱	講師：徳岡和美 演奏：橋本静子 サービス責任者：高原佐美	9	6
3月4日	第44回わいわいデイルーム	マンドリン演奏と歌唱 体操・ゲーム	演奏：ハイランドアンサンブル サービス責任者：新井育子	9	3
3月11日	第45回わいわいデイルーム	介護予防教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：高原佐美	8	4

3月18日	第46回わいわいデイルーム	ストレッチ ピアノ演奏と歌唱	講師：中川郷子 演奏：橋本静子 サービス責任者：川上和恵	11	4
3月25日	第47回わいわいデイルーム	カラムゲーム	講師：徳岡和美 サービス責任者：高原佐美	11	5
延参加人数（第8回は中止のため全46回）				436	226

## 神戸YWCA保育園

園長 梅川玲子  
 保育士 西岡奈美、溝平明日香、鎌田直子、鈴木詩穂（7月～）、竹田孝子、江崎公代、弓削文子  
 小畠涼子（～6月）、大井真樹  
 管理栄養士 渡辺民乃  
 調理 溝口あや（調理士）大井真樹（調理員）、藤原千尋（調理員）、竹内理重子（調理員）  
 英語スタッフ ランドル キヨシ 渕上

### ●事業方針・目標

- ・子どもたちの「今」を共に生きる
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える

### ●事業報告

2024年度は13人の子どもたちと共に始まった。児童館に集まる保護者の間で神戸YWCA保育園が話題になることが度々あり、一時保育も受けてくれる園として多くの見学者があった。その中から入園希望を出してくださる方も出た。個々の事情に対応できることはできる限り行い、一時保育も受入が続いた。が、余裕型のため定員に満ちたときは受け入れられず、限られた条件になり、後半は一時保育の人数は少なくなった。

二宮公園を毎朝清掃してくださる方や散歩途中で出会う方に挨拶を心掛け、地域での子育てを広げている。2024年度から神戸聖愛教会の図書の部屋に月1回お邪魔している。教員の方が子どもたちに絵本を読んでくださり、交流している。二宮地区の生田川の水を使っての消防放水を見学し、「夏祭り」や「こども祭り」にも参加して、町内会にも知り合いが増えた。子どもを見守ってくださる方が年々増えているのはうれしいことである。

厳しい状況の中、近隣小規模保育園との連携や交流によって情報交換ができる関係も安定してきている。小規模同士が力を合わせることで状況を変えていくことはできると感じている。

### ●事業実績（保育園園児数）

2024	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
1歳児	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	55
2歳児	8	7	7	7	6	6	6	5	5	5	5	5	72
	13	12	12	12	11	12	13	12	12	12	12	12	145

## 神戸YWCAつどい場

### 若年性認知症の人たちとその仲間たちの集い カフェもぐもぐ

代表：宮田泰子

メンバー：10人

### ●活動方針・活動目標

コミュニティーカフェの役割として以下のことを行う。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく
- ・若年性認知症についての啓発活動を行う
- ・仲間を増やす
- ・地域に開かれたつどい場としての働きを模索する（他団体・他グループとの協働など）

### ●活動報告

毎月第1土曜日、日本基督教団神戸聖愛教会の会場を借りての活動も3年目となった。定例会は10時30分～15時まで、食事を作り、食卓を囲んで、近況を語り、課題を共有しながら今のこと、明日のことを考える時間を過ごしている。4月には恒例の生田川でのお花見散策、また時には飛び入りの来客とともに食事と会話を楽しむ時間を過ごすことが出来た事を喜びたい。新たなメンバーの参加によって仲間が増え、グループの集

りも活気がでて賑やかになっている。定例会の他、8月には神戸YWCAの夏祭り（運営委員会主催、平和プログラム）、11月には聖愛教会の音楽マルシェ、それぞれ恒例のカレーを提供して外のプログラムと交流する機会を持つことができた。一年を通して問い合わせはあるが、当事者の参加方法など課題があり、参加には至らないことが多い。今年は若年性認知症についての啓発と広報活動の一つであるセンター養成研修を開講できなかったが、今後も「地域にひらかれた集い」を目指して啓発や広報に力をいれていきたい。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数				合計
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体 等その 他	
4月6日	第1回定例会 (神戸聖愛教会)	外出プログラム（生田川桜お花見） 近況報告、弁当作り	2	2	6	0	10
5月11日	第2回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり	2	2	5	0	9
6月1日	第3回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり	2	2	5	1	10
7月6日	第4回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり	2	2	6	2	12
8月3日	第5回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり	1	1	5	0	7
8月27日	特別プログラム (神戸YWCA)	神戸YWCA夏祭りに参加 (食事提供)	0	1	3	0	4
9月7日	第6回定例会 (なだのはまエイト)	近況報告、昼食づくり	2	2	4	0	8
10月5日	第7回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり	1	1	7	0	9
11月4日	特別プログラム (神戸聖愛教会)	聖愛教会音楽マルシェ音楽マルシェ (昼食カレー作り)	1	2	6	0	9
12月14日	第8回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり 来客あり歓談	3	3	7	2	15
1月11日	第9回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり	3	3	5	0	11
2月1日	第10回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり 次年度について、運動	2	2	7	1	12
3月1日	第11回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり 次年度について、運動	1	1	5	0	7
延参加人数（全13回）			22	24	71	6	123

### 木曜カフェ

代表 : 宮田泰子

メンバー : 5人

### ●活動方針・目標

目的 : YWCAの交流スペースとしての活用

\*会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごす事の出来るスペースにしたい。

\*木曜カフェのつどい場を利用して、お話や映像、演奏をする機会を持ちたい。

\*バザー・ガレージセールなど他の催しへの参加

### ●活動報告

毎月第2・第4木曜日 13時30分～15時30分まで会館5階でオープン。カフェの参加者は雑誌、レコード、CD、ピアノの生演奏などをたのしみながら三々五々お茶の時間を過ごしている。今年は希望により数回映画のビデオ鑑賞も行った。

YWCAの他のグループや活動メンバーの参加は新たな仲間作りとなっている。また職員のティータイム

として、日本語学習の学生などの交流スペースとしての利用が増えている。特に9月～12月の期間、日本語学科の講座にあわせ、日本語を使ってみる場所として12時30分からオープン、楽しい交わりの時となつた。毎回ピアノ演奏、ケーキ提供など多くのボランティアによって支えられ、クリスマスにはクラシックギターの演奏を楽しんだ。

4月から21回開催、神戸YWCAの交流スペースとしての働きを担っている。

今年も神戸YWCA灘の浜エイトでの1回のバザーにカフェを提供、目標である地域の人々の参加を促すような特徴・催しなどのきっかけ作りが課題となっている。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	参加人数		合計
			来訪者	スタッフ	
4月11日	第1回木曜カフェ	レコード・CD・ピアノ演奏	8	6	14
4月25日	第2回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	3	6	9
5月9日	第3回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	7	6	13
5月23日	第4回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	9	4	13
6月13日	第5回木曜カフェ	ピアノ演奏・ビデオ映画	10	6	16
6月27日	第6回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	8	5	13
7月4日	第7回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	7	5	12
7月25日	第8回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	7	4	11
9月12日	第9回木曜カフェ	ピアノ演奏・ビデオ映画	8	3	11
9月26日	第10回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	9	4	13
10月10日	第11回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	14	5	19
10月24日	第12回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	14	5	19
11月14日	第13回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	12	4	16
11月28日	第14回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	13	5	18
12月19日	第15回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	15	5	20
1月9日	第16回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	12	5	17
1月23日	第17回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	11	5	16
2月13日	第18回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	13	5	18
2月27日	第19回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	13	5	18
3月13日	第20回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	10	4	14
3月27日	第21回木曜カフェ	ピアノ演奏・レコード・CD	12	5	17
延参加人数(全21プログラム)			215	102	317

### ●参加プログラム

開催日	イベント(場所)	テーマ・主な内容	木曜カフェメンバー
12月1日	なだのはま・わいわいバザー (なだのはまエイト)	喫茶コーナーを担当	延3

ちやいやあらんど

休会中

## III 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

# 神戸YWCA学院

学院長：西本玲子

## 日本語コース

講師：櫻井かおり（主任）、小川佐由理（副主任）、天川啓子、荒木真也、枝松奈美、貫上育代、小澤恭子、後藤範子、斎藤明子、澤村典子、清水恵子、下山知子、豊田茜、永嶋美幸、福井武司、森田純一、山本修、吉田郁子

担当職員：千葉真理子

### ●事業方針・目標

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

### ●活動報告

プライベートレッスン（2人でのセミプライベートレッスン含む）、「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」、外国にルーツを持つ子どものための日本語支援「子ども日本語トータルサポート」を行った。

プライベートレッスンは、宣教師、シスター、宣教会のインターン、日本の大学に在学する大学生、就労者等が受講した。宣教活動及びその準備のための日本語、日本語能力試験対策等、個々の目的に沿った内容の日本語レッスンを行った。

「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」では、就職を目指す在住外国人に、日本語・パソコン・就職支援の訓練を実施した。今年度も神戸YWCA・神戸YWCAまごの手・神戸YWCA保育園の各職員が、各分野の専門家として訓練を担当した。木曜カフェは、訓練生が利用できるように、コース期間中は開催時間を変更して開催した。各部署・グループの協力を得て、神戸YWCAの特徴を生かしたコース内容とすることができた。

「子ども日本語トータルサポート」では、「勉強に役立つ日本語クラス」を行った。社会福祉法人中央共同募金会の「外国にルーツのある人々への支援活動応援助成」を得て、2023年10月～2024年9月の1年間のプログラムとして実施することが出来た、例年に比して多くの子どもたちへの日本語授業を実施することが出来た。また、各団体の支援者を対象とした勉強会・見学会/交流会を実施することが出来た。

### ●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
プライベートレッスン	4月1日～3月31日	12	延12	—	8

委託等事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者／ 参加者数	回数など	講師数
中央共同募金会 「外国にルーツがある人々への 支援活動応援助成」	勉強に役立つ日本語 関連プログラム	夏休み勉強に役立つ 日本語	6	19	・会館（クラス/個別） 各1コース ・オンライン 1コース
		夏休み勉強に役立つ 日本語 見学会/交流会	-	15	2回
		勉強に役立つ日本語	5	5	1コース
		教科のための 日本語	1	6	1コース
		勉強会 「中東を知ろう」	-	18	1回
兵庫県委託訓練事業（委託） 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け 日本語・就業力スキルアップコース 9月13日～12月12日	1	9	1コース	11

## ■ 日本語教師養成コース

講師：小川佐由理（副主任）、福井武司（コーディネーター）、貫上育代、斎藤明子、水野マリ子

担当職員：千葉真理子

### ●事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

### ●活動報告

「日本語ボランティア養成講座（入門編）春」（5回連続講座）を6月～7月に実施した。

日本語教育実習を帝塚山学院大学・神戸女学院大学（8月実施）、甲南女子大学（2月実施）の3大学から受け入れた。

アドバイザー派遣事業として、明石文化国際創生財団、小野市国際交流協会、たつの市国際交流協会の日本語ボランティア向け講座の講師を担当した。神戸市立兵庫中学校北分校、神戸市立丸山中学校西野分校、尼崎市立成良中学校琴城分校の「日本語指導研修」の講師を担当した。

やさしい日本語講座事業として、神戸大学大学院保健学研究科、三木市市役所、加東市市役所、明石市コミュニティセンター、神戸海星女子学院高校、新神戸あんしんしそくやかセンター、神戸市中央区社会福祉協議会（主催）での出張講座を行った。

### ●事業実績

コース名	内容・期間 * ( ) は主催	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習 受け入れ	帝塚山学院大学 8月5日～9日	1	5	1	-
	神戸女学院大学 8月5日～9日	1	5	1	-
	甲南女子大学 2月25～28日	1	5	1	-
日本語ボランティア 養成講座	「入門編」春 6月22日～7月20日	1	15	1	1
アドバイザー派遣	日本語学習支援ボランティア養成講座 12月7日・21日、2025年1月11日・25日、2月8日、3月8日 (明石文化国際創生財団)	1	-	1	2
	日本語教室ボランティア養成講座 9月8日 (小野市国際交流協会)	1	-	1	1
	こども日本語支援入門講座 8月25日 9月1日・8日・29日 (たつの市国際交流協会)	1	-	1	3
	日本語指導研修 4月2日 7月3日 9月4日 11月27日 (神戸市立兵庫中学校北分校)	1	-	1	1
	日本語指導研修 6月17・21日／2025年1月24日・31日 (神戸市立丸山中学校西野分校)	1	-	1	1
	日本語指導研修 6月27・28日、9月6・9日 (尼崎市立成良中学校琴城分校)	1	-	1	1
講師派遣 やさしい日本語講座	やさしい日本語講座 10月23日 (三木市市民協働課)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 6月8日 於：魚住東コミセン (明石市コミュニティセンター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 2025年2月15日 於：大久保コミセン (明石市コミュニティセンター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 12月14日 於：大久保北コミセン (明石市コミュニティセンター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 中央区こどもの居場所団体向け 9月24日 (神戸市中央区社会福祉協議会)	1	-	1	1
	やさしい日本語研修 宮本地区小地域支え合い連絡会 11月23日 (新神戸あんしんすくやかセンター)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 8月2日、2025年2月28日 (加東市市民協働部人権協働課)	1	-	1	1
	やさしい日本語研修 10月11日 (神戸大学大学院保健学研究科)	1	-	1	1

	やさしい日本語講座 6月10日 (神戸海星女子学院中学校高等学校)	1	-	1	1
--	--------------------------------------	---	---	---	---

## 外国語コース

講 師：阿部ちくさ、セス・マスターズ、タハ・クチャーバ、デレク・ニヘイ、土井川佳世子  
ドック・ケイン、ポール・ボテロ、バラティ・スレシュチャンドラ、ロヘラ・キヨショル・プリティ  
職 員：塩見洋子、西本玲子

### ●事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応じたクラス・プログラム運営に努める。

### ●活動報告

レギュラーコースは、英語2クラスを3学期とも開講したが、講師の交代が相次いだ。水曜クラスは、長年勤めた講師の退職により新講師でスタートしたが、9月に退職し新講師に交代した。土曜クラスは、講師が7月に退職、新講師に交代した。1人入会があった。カスタムコースは「シニア英会話」を3学期とも開講した。プライベートコースは、新受講があった。大学入学のためのTOEICと面接の学習を行った。

オフキャンパスは、「兵庫県英会話Dクラス（年20回）」は5月16日～12月11日まで開講した。公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校の英語講義（2年生クラス）は、前期は4月～6月、後期は1月～2月まで行った。独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校の英語講義（後期：10月7日～12月9日）は、長年担当していた講師2人（日本人、ネイティブ）に代わって新講師2人（日本人、ネイティブ）で開講した。

### ●事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	春・秋・冬学期各12回（英語）	2	7	延72	3
プライベートコース	英語	3	4～5	延101	3
カスタムコース	シニア英会話	1	4	36	1
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	8	20	1
	公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校	1	70	27	1
	独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校	2	38	29	2

## 文化教養コース

講 師：岩崎ひかる  
職 員：西本玲子

### ●事業方針・目標

- 芸術・文化に触れ、エンパワメントされる講座を企画する。

### ●事業報告

ピアノ、発声・歌唱とも、神戸YWCA会館5階チャペルのグランドピアノでゆっくりレッスンを受けることができる。今年度も引き続き1対1のプライベートレッスンを実施し、受講生が毎月第2・第4月曜日の夕方～夜にレッスンを続けることができた。

### ●事業実績

コース名（神戸YWCA会館）	講座・プログラム名	在籍者数	回数	講師
ピアノ教室	プライベートレッスン	1	24	岩崎ひかる
発声&歌唱教室	プライベートレッスン	3	24	岩崎ひかる

## 多文化共生ボランティア部

休部中

## IV 活動共通事業

### 運営委員会

会長：木村文子  
副会長：斎藤明子、金本美子  
会計：宮田泰子  
書記：住田サーラ  
職員：西本玲子

#### ●活動方針・目標

- 明確化されたミッションに沿った活動を行う。神戸YWCAとして大切にすべきことを確認し、行動に移す。
- しなやかで強く、安心して活動できる組織に基づき、活動を推進する。
- ユース・ミドル・シニアのすべての世代が協働した活動を推進する。

#### ●活動報告

オンライン形式と対面を併用して、月1回、運営委員会を開催した。運営委員のメンバーは5人。限られた人数のなかでも一人ひとりの得意分野、関心があること、できることを話し合いながら、実現できることを協力して行った。

2024年度は会員が委員会やプロジェクトの垣根を超えて、今後の会員活動の在り方、継続について考え、思いを共有できる機会の提供など、会員と運営委員会のつながりを深める組織運営を行った。8月の「私のへいわ夏祭り」では、参加者それぞれの平和への想いを共有し、普段一緒に活動する機会が少ない会員同士が話し合うことで「平和」について考える機会となった。10月のオープンミーティングでは2024年度のプロジェクトの振り返りを行い、継続可能な会員活動について想いを共有することができた。

また、4月の世界YWCAデイでは大阪、京都と協働でプログラムを開催し、5月の日本YWCA中央委員会、11月の全国会員総会では他の地域YWCAと課題の共有や意見交換など、全国規模で今後のYWCAの在り方を考える機会もあった。

会員数が減少するなかで、「規模が小さくても継続できる」活動を模索する年であった。会員が参加しやすく、楽しみながらYWCAの意義を感じられるプログラムなどを今後も開催することが求められている。

#### ●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA会館と オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数 (全回数)	平均 参加 人数
3月9日	第12回新旧委員会	新旧運営委員の引き継ぎ事項確認、役員選出、委員会開催方法および日程決定、プログラム担当決定、委員会メンバー募集チラシの件	6	61 (全11回)	5
4月22日	第1回委員会	各委員会の状況、世界YWCAデイ進捗、キックオフミーティング内容協議、理事会報告	6		
5月11日	第2回委員会	運営委員会23年度事業報告承認、キックオフミーティング内容協議、理事会報告、各委員会の課題共有	6		
6月8日	第3回委員会	全会集会実現に向けて／私のへいわ夏祭り開催の件、世界YWCAデイを振り返って	6		
7月13日	第4回委員会	全国会員総会代議員など決定、Ys wonderful women賞推薦の件、「私のへいわ夏祭り」内容協議、オープンミーティング準備、ファンドレイジング実行委員会の進め方	6		
9月14日	第5回委員会	私のへいわ夏祭り振り返り、オープンミーティングの内容協議、役割分担など、	5		
10月12日	第6回委員会	オープンミーティング振り返り、今後のキックオフ／オープンも持ち方協議	4		
11月9日	第7回委員会	2025年度計画（神戸YWCAビジョン、ミッション、目標）、オープンミーティング振り返り、ファンドレイジング実行委員会のその後など	5		
12月14日	第8回委員会	理事会からの報告（事業改変、会館売却など）、理事会報告を受けて運営委員会24活動報告、25年度ビジョン、ミッション、目標について、25活動計画について協議、ファンドレイジング実行委員会のその後、	6		
1月11日	第9回委員会	25世界YWCAデイの件、定期会員集会に向けて（全体プログラムの確認、運営委員報告の内容と分担	5		

2月1日	第10回委員会	定期会員集会関連協議、決定（第104回議事録承認、運営委員会活動報告、活動計画の承認、24年度活動報告承認、25年度活動計画）、午後プログラムの内容協議	6	
------	---------	------------------------------------------------------------------------------	---	--

### ●実施プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館とオンライン)	テーマ・主な内容	参加人数
6月8日	キックオフ・ミーティング	・定期会員集会での決定事項共有（グループ規定、会費改定、年間スケジュール） ・中央委員会報告（新会員制度） ・神戸YWCAのアイデンティティを考える（神戸Yの歴史の中でプログラムが立ち上がった時（寺内、宮田）、YWCAに求められていることってなに？）	13
8月24日	私のへいわ夏祭り	声の奉仕「この子たちの夏」／「私のへいわ」で喋りっぱなし、持ち寄り食事、カフェもぐもぐのカレーなど	23
10月12日	オープン・ミーティング	各プロジェクトの経過と評価、次年度のプロジェクトについて所属委員会の枠を超えて自由に話す。	9
3月8日	第105回定期会員集会	理事会報告、前回議事録承認、2024年度事業報告・会計報告、2025年度事業計画・予算、2025年度運営委員・指名委員選出、2025年度標語聖句決定	出席28 委任状54
	午後プログラム 新しい活動の方法をみんなで考えてみよう	新たな活動場所の情報、会館外で活動中のグループの事例紹介、意見交換	25
延参加人数（全5プログラム）			152

### ●日本YWCA・他市YWCA主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	神戸YWCA参加人数
4月27日	世界につながるYWCA (オンライン)	京都YWCA、大阪YWCA、神戸YWCAをつなぐ世界YWCAディ・世界YWCA参加報告／国連女性の地位委員会参加報告／お楽しみbingoなど	京都23、大阪13 神戸7、他7
5月25日	加盟YWCA中央委員会 (福岡YWCA)	日本YWCA2023年度事業報告および決算、2024年度事業計画と予算の承認など	2
	日本YWCA主催／各種研修 (オンライン)	①YWCAのアイデンティティ研修（6月14日など） ②会長、副会長、書記、会計担当者研修（6月17日、10月21日、12月2日）	10
延参加人数（全3プログラム）			19

## 定期会員集会準備会

代表：川関敏恵

メンバー：4人

職員：西本玲子

### ●活動方針・目標

会員活動の意思決定機関である定期会員集会が滞りなく、かつ適正に開催されるよう、準備・運用を行う。

### ●活動報告

第105回定期会員集会に向けて、集会準備全般と当日進行を行った。

### ●活動実績

開催日	委員会（神戸YWCA会館）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
1月22日	第1回委員会	代表決定、第104回の振り返り、第105回集会の開催方法と集会役割分担（依頼先）	5	25 (全5回)	5
	作業	議案資料第1回校正作業	5		

2月5日	第2回委員会	集会当日担当者の確認、当日シナリオ確認 今後のスケジュールの確認	5				
	作業	出欠ハガキ発送作業					
2月25日	第3回委員会	午後プログラムの内容および昼食について、 集会当日担当者の最終確認	5				
	作業	議案資料発送作業					
3月7日	準備	会場設営など	5				
3月8日	第105回定期会員集会	*運営委員会欄に記載					

## 指名委員会

代表：東根順子

メンバー：5人

職員：西本玲子

### ●活動方針・目標

定期会員集会に向けて、会員の中から運営委員および指名委員を指名する。

### ●活動報告

運営委員の推薦および指名委員の推薦を行った。今回は7人の候補者を推薦することができた。ここ数年、定員（最低6人）に欠けることもあり、苦しい委員会運営であったが、今年は継続者も合わせて全9人の運営委員で2025年度スタートできることとなった。

### ●活動実績

開催日	委員会（神戸YWCA会館）	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
11月12日	第1回委員会	5	17 (全3回)	5
12月9日	第2回委員会	7		
1月8日	第3回委員会	5		

## 会員委員会

代表：鶴崎祥子

メンバー：2人

職員：西本玲子

### ●活動方針・活動目標

神戸YWCA会員の親睦のために、活動報告する。

### ●活動報告

誕生日カードの発送（会員・会友・賛助員のお誕生日に合わせて、カードを送る）は、メンバーのお一人の協力で今年度も継続した。

## キリスト教基盤委員会

代表：宮田泰子

メンバー：8人

職員：西本玲子

### 【活動方針・活動目標】

- ・神戸YWCAに参加する全ての人が、キリスト教基盤を理解し、共有する。

- ・「キリストの平和」を学び伝える。

### 【活動報告】

委員会は10回開催。4月20日午後、「パレスチナ問題とキリスト教」を村山盛忠牧師を迎えて開講、「パレスチナ問題とは何なのか」との素朴な疑問から学ぶ事ができた。今年度新たに11月と2025年2月にパート2を企画、大きな痛みを感じるとともにより深い学びと指針が与えられる時間をすごした。

神戸YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝（11月12日（火）9時～）では神戸YMCAチャペルにおいて、尼崎カトリック教会ジョヴァンニ神父から、「自然現象に学び、信仰をもって歩む」をテーマにメッセージをいただいた。

「私の平和・あなたの平和～人が大切にされる社会に～」をテーマに神戸YWCAクリスマスが、12月7

日に神戸YWCA会館で開催された。日本基督教団御所教会原田雅子牧師より「おめでとう、恵まれた方！」とのメッセージをいただき、「平和を求める祈り」をリタニー（連祷）でつないだ。礼拝後はクリスマスマーケットやお茶の時間もあり、和やかな親睦の時となった。また今年も12月に入り神戸YWCAの多くの人たちによって「平和を願うローソク」プログラムがもたらされた。

他団体との共催の世界祈祷日（2025年3月7日）は、日本基督教団神戸聖愛教会を会場に、今年は神戸YWCAが事務局として、「クック諸島からのメッセージ～わたしたちはおそろしいほどに、すばらしく造られています」をテーマに実施した。

### ●活動実績

開催日	委員会 (全て、 神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均 参加人数
5月16日	第1回委員会	パレスチナ問題とキリスト教振り返り 今後のスケジュールなど	7	74 (13回)	5
6月6日	第2回委員会	下半期プログラム（パレスチナ問題とキリスト教第2弾開催決定、合同祈祷週、神戸YWCAクリスマス、世界祈祷日）	6		
7月30日	第3回委員会	パレスチナ問題とキリスト教第2弾の件（今回のテーマなど講師と調整）、神戸YWCAクリスマス企画について	5		
8月27日	第4回委員会	パレスチナ問題とキリスト教第2弾の件（今回のテーマなど講師と調整）、神戸YWCAクリスマス企画について、合同祈祷週テーマ決定／講師探し	6		
9月30日	第5回委員会	合同祈祷週のテーマに沿って候補者選定（代診する）、パレスチナ問題とキリスト教（講師とテーマ検討、当日役割分担、タイムスケジュール、広報など）	6		
10月7日	第6回委員会	合同祈祷週奨励者決定、講師への確認事項など、神戸YWCAクリスマス礼拝奨励者決定	5		
10月28日	第7回委員会	パレスチナ問題とキリスト教検討、合同祈祷週最終確認、神戸YWCAクリスマス（ケーキ焼き、地域Yへのカード作り、アドベントの飾りつけ等）	6		
11月12日	第8回委員会	神戸YWCAクリスマス内容協議、役割分担、チラシ決定、ろうそくプロジェクト、その他スケジュールの確認	8		
12月4日	第1回世界祈祷日MT	担当団体として世界祈祷日打ち合わせ	4		
12月26日	第2回世界祈祷日MT	小栗牧師を交えて世界祈祷日全体の確認と役割分担	5		
1月14日	第3回世界祈祷日MT	第2回打ち合わせを受けてその後の進捗状況確認	4		
1月15日	第9回委員会	世界祈祷日役割分担、年間聖句候補、パレスチナ問題とキリスト教内容調整、2024年度事業報告・2025年度事業計画 ＊小栗牧師ともミーティング	6		
1月29日	第10回委員会	パレスチナ問題とキリスト教（2月）の最終確認	6		

### ●実施プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (全て、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加 人数
4月20日	パレスチナ問題と キリスト教	パレスチナ問題とキリスト教 なぜ解決できずにいるのか？	村山盛忠 (現日本基督教団大阪生野教会 協力牧師)	56
11月2日	第2弾 パレスチナ問題とキリスト教	第1回 ユダヤ人、パレスチナ人、イスラエル、パレスチナ等の歴史的背景	村山盛忠 (現日本基督教団大阪生野教会 協力牧師)	25
2月15日		第2回 東方キリスト教会の歴史と政治的 背景～これからパレスチナとどう 向き合うか		
12月7日	神戸YWCAクリスマス 私の平和・あなたの平和 ～人が大切にされる社会に～	・クリスマス礼拝（メッセージとリタニー（連祷）） ・お茶とクリスマスマーケット	メッセージ：原田雅子 (日本キリスト教団御所教会牧師)	29

## ●他団体との協働プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月12日	神戸YMCA/神戸YWCA 合同祈祷週合同礼拝 (神戸YMCAチャペル)	テーマ 自然現象に学び信仰をもって歩む ～水、地、火、風をテーマに～	ジョヴァンニ・デリア (カトリック尼崎教会 第16代主任司祭)	22 (神戸Yは 10)
3月7日	神戸・阪神地区 世界祈祷日礼拝 (日本基督教団神戸聖愛教会)	クック諸島からのメッセージ ～わたしたちはおそろしいほどに、 すばらしく造られています～	メッセージ 小栗献 (日本基督教団 神戸聖愛教会)	64 (神戸Yは 8)
1月29日	世界祈祷日 第1回実行委員会 (日本基督教会神戸聖愛教会)	2024年世界祈祷日プログラムのための 確認と役割分担		18
2月7日	世界祈祷日 第2回実行委員会 (日本基督教団神戸聖愛教会)	2024年世界祈祷日プログラムのための 確認と役割分担		19

## HAT 神戸・灘の浜プロジェクト

メンバー：13人

職 員：西本玲子、寺内真子、伝明地敦子

### ●活動方針・活動目標

神戸YWCAは、「市営住宅コミュニティ活性化事業（モデル事業）」の事業者として神戸市から選定された。2023年4月からHAT 神戸・灘の浜南集会所を活動拠点として活用し、管理運営を行う。入居者の少子高齢化等の課題に対応し、地域コミュニティの活性化を図る。

### ●活動報告

2024年度も「貸室」「バザー」「地域活性化」の3チームを継続した。貸室は、なぎさシニアクラブの「懐かしの歌声」（月1回）を中心に利用いただいている。バザーチームでは、NPO法人いちじま丹波太郎と協力し、毎週金曜日に野菜市とミニミニバザーを開催している。毎回20人ほどの方が利用してくださっており、野菜販売の「場」が流動的つどい場として定着してきている。地域活性化チームは、毎月第3日曜日の地域清掃終了後の時間を利用して、4月から「みんなのカフェ」（10時～12時）としてつどい場を実施。リラックスして集っていただけるように、スタッフがこだわりコーヒーを準備している。不定期に、ミニコンサートや落語なども開催して、多様な方に参加していただけるよう工夫をしている。12月には、地域調査アンケートも行った。また、なだのはまエイト全体の活動広報のために、4月から「なだのはまエイトだより」を作成、市営・県営住宅を中心にポスティングしている。ほぼ月1回発行することができた

来年は活動3年目となることから、なだのはまエイトが、この地域ならではの「サード・プレイス」となることを目指して、具体的に動いていきたい。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外なだのはまエイト)	講師／参加者等	参加人数	参加人数 (メンバー)
12月1日	なだのはま・わいわいバザー	協力団体：ほっとすてーしょん、あおちゃんのおもちゃ、てんわんファーム、ネパールチャリティ小物、澤村はるな絵ハガキ、エム・シーシー食品株式会社、六甲バター株式会社	123	16
毎週金曜日 4月	野菜市とミニミニバザー (全47回／延912人)	NPO法人いちじま丹波太郎	延81	延20
5月			延71	延24
6月			延61	延21
7月			延78	延20
8月			延53	延12
9月			延90	延21
10月			延96	延21
11月			延109	延45

12月			延74	延13
1月			延43	延14
2月			延72	延21
3月			延84	延17
9月7日	なぎさふれあいファミリー祭	主催：なぎさふれあいまちづくり協議会	200	2
毎週 第3日曜日	なだのはまエイト オープンハウス (全11回)	地域住民	3~14	3~7
6月16日	みんなのコンサート	出演：ハニワーズ、AZUKA	14	6
9月15日	なだのはま寄席	出演：顔見亭 馬久松、流行亭 伽楽太、 藤乃家 琴鈴、新宮亭 当り目	11	4
11月17日	チューリップの球根植え	地域住民	2	2
12月15日	鈴木一郎クラシックギターライブ	演奏：鈴木一郎	12	7
1月19日	おーまきちまき音楽ライブ	演奏：おーまきちまき	12	4
12月15日 1月19日	地域アンケート調査	地域住民	20	16
4月~3月	貸室 (全19回)	* 「施設貸与」にも報告	延129	
毎週金曜日	なだのはまエイト管理			1

## V 広報・ファンドレイジング

### 機関紙編集委員会

代表：野村春美

メンバー：4人

職員：西本玲子

#### ●活動方針・目標

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために持続可能な形で機関紙を発行する。

#### ●活動報告

発行回数は年2回（6月、11月）各900部を発行した。しかし、機関紙の最終校正とデザインを外部デザイン事務所に依頼したこと、打ち合わせはオンラインを駆使することで作業は整理された。

内容として、6月号巻頭は「判断の基準はまず『義（正しさ）』から」（日本基督教団大阪生野教会協力牧師・村山盛忠）、2面「第104回神戸YWCA定期会員集会」（総幹事西本玲子）、2024年度標語聖句、運営委員とその役職を紹介。11月号巻頭は「人生を豊かに生きるために」（かえでホームケアクリニック顧問・関本雅子）、2面「会員が一同に集う場の大切さ～私のへいわ夏祭り／オープンミーティング」（会長・木村文子）。継続企画として「まごの手ヘルパー徒然記」（藤井かえこ）、「エルサルバドル伝書鳩」（福田百）、「金曜日のなだのはまエイト」（平山芳子）、「たてごと」（住田サーラ、増田昌子）を掲載した。

#### ●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
4月1日	第1回委員会	・4・5月号ふりかえり、 ・6月号企画と編集スケジュール	5	13 (全3回)	4
9月12日	第2回委員会	・6・7月号ふりかえり ・12月号企画と編集スケジュール	4		
2月3日	第3回委員会	・2024年度事業報告、2025年度事業計画作成の件	4		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	参加人数
5月13日	6月号作業	生原稿チェック デザイン担当者と打ち合わせ	4

5月27日	6月号作業	メールにて原稿チェック 最終原稿確認、デザイナーに渡し	4
6月3日	6月号作業	第1回レイアウト校正	4
6月10日	6月号作業	第2回レイアウト校正	4
6月14日	6月号作業	入稿	1
6月24日	6月号作業	発送	5
10月14日	11月号作業	生原稿チェック	4
10月19日	11月号作業	メールにて原稿チェック 揃った原稿をデザイナーに渡す	4
10月28日	11月号作業	第一回レイアウトチェック	4
11月4日	11月号作業	第二回レイアウトチェック	4
11月9日	11月号作業	入稿	1
11月18日	11月号作業	発送	5
延参加人数 (全12プログラム)			44

## ファンドレイジング実行委員会

代表：宮田泰子

メンバー：2人

職員：西本玲子

### ●活動方針・目標

- ・会員活動の持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・ファンド・広報について情報収集に努め、神戸YWCAを知つてもらう機会を増やす。

### ●活動報告

今年度はミーティングを開くことができなかつた。春井さんの天然はちみつは、固定ファンがおられ、継続して売れてゐる。ドリップコーヒーは今年度は増産できなかつたが、今後の販路開拓など、次の機会を探りたい。次年度もできる形でのファンドレイジングを模索したい。

東京で行われた全国会員総会、定期会員集会などの会員集会で福島YWCAからアクセサリーの寄贈品、持ち合わせている在庫(ワッペン)などの販売することができた。

## 施設貸与

メンバー：宮田泰子

職員：西本玲子、塩見洋子、伝明地敦子

### ●方針・目標

神戸YWCAの施設を公益に資する団体等に貸与することで、公益事業の推進を図る。

### ●活動報告

神戸YWCA会館、HAT神戸・灘の浜住宅南集会所を、公益目的事業に資する団体および個人に神戸YWCAの施設を貸与した。2024年度（4月～3月）は、灘の浜においては19回、神戸YWCA会館においては21回実施した。

### ●活動実績

開催日	プログラム・イベント名	利用団体	利用人数
4月～3月	貸室 (なだのはまエイト)	HAT神戸灘の浜地区市民グループ、神戸YWCAグループ活動、理事会、評議員会など (全19回)	延129
	貸室 (神戸YWCA会館)	団体・グループ等 (全21回)	延63

## VI 法人

### 理事会

理事長 平山芳子  
理 事 大工原則子、野村春美、三浦啓子、宮田泰子  
常務理事 西本玲子  
業務執行理事 寺内真子

#### ●方針・目標

- ・「人」「財」が適切に配置された安定的な神戸YWCAするために、財政構造および組織構造改革に目途をつける。
- ・神戸YWCAの中長期ビジョンを明確にする。

#### ●2024年度事業報告

2024年度は、結果としてマイナス予算のままでのスタートとなり、財政健全化にむけての取り組みを継続した。

##### (1) 日本YWCAとの合同ワーキングチーム稼働

2024年5月、神戸YWCAの財政構造改革と、日本YWCAとしての全国運動を鑑みた神戸YWCAの中長期ビジョン策定を目的に、日本YWCAとの合同ワーキングチーム（神戸YWCA全幹事職、理事2人、日本YWCA理事3人）を立ち上げ、計7回のミーティングを実施した。ワーキングチームの協議内容は各理事会に報告提案され、日本YWCA理事会との合同理事会も2回開催した。

(2) 中長期ビジョンを明確にするための、既存事業の抜本的見直しと新規事業開拓  
上記提案を経て、神戸YWCA理事会において以下が決定された。

##### ①事業の改廃について。

単一事業として赤字となる事業については2025年度に事業終了する。該当事業は神戸YWCA学院事業。  
継続事業は、神戸YWCAまごの手、神戸YWCA保育園。

##### ②児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）実施の件

日本YWCAが全国展開を検討する女性とこども応援事業（仮）の一環として、神戸YWCAでは自立援助ホームに関して2027年4月開設を目指して準備に入る。

##### ③会館売却の件

会館売却を決定した。2026年4月に売却完了を目指して具体的な作業に入る。

##### (3) 施設貸与事業

利用が増えており、予算以上を達成することができた

#### ●事業実績 ( ) は2025年4月以降実施の理事会

開催日	理事会／プログラム（神戸YWCA会館）	出席理事数	出席監事数	陪席数
5月4日	2023年度第11回理事会	7	2	
5月20日	2023年度 第12回理事会	7	2	
6月1日	2023年度 第13回理事会	7	2	
6月29日	2024年度 第1回理事会	7	2	
7月29日	2024年度 第2回理事会	7	2	
8月26日	2024年度 第3回理事会	7	2	
10月19日	2024年度 第4回理事会	7	2	
11月13日	2024年度 第5回理事会	7	2	
12月9日	2024年度 第6回理事会	7	2	
12月21日	2024年度 第7回理事会	7	2	
1月8日	2024年度 第8回理事会	7	2	
2月8日	2024年度 第9回理事会	7	2	
3月24日	2024年度 第10回理事会	7	2	
(4月28日)	(2024年度 第11回理事会)	(7)	(2)	
(5月28日)	(2024年度 第12回理事会)	(7)	(2)	(1)

●財政チーム／人事チーム

内容	開催日	ミーティング	出席理事数	出席監事数	陪席
財政チーム	7月27日	第1回ミーティング	5	2	
人事チーム	11月3日	第1回ミーティング	7	2	1
	3月15日	第2回ミーティング	4	2	

●主催プログラム

内容	開催日	ミーティング	講演者	出席者
神戸YWCA公開講座 (オンラインあり) 人生を豊かに生きるために～私の終活、あなたの終活～	11月16日	最後の時、あなたも家族も後悔しないために 「人生会議・後見人」	関本雅子 かえでホームケアクリニック顧問	40
	1月25日	最終段階の医療と自己決定 「尊厳死・安楽死」		49

開催日	内容	出席者
2月22日	神戸YWCAビジョン説明会	22

## 監 事

監事 川関敏恵、川邊比呂子

## 評議員会

評議員 川島恵美、島田恒、関本雅子、鶴崎祥子、寺澤京子、馬場一郎、藤野達也、松浦裕子  
下村俊子（2024年6月22日をもって任期満了のため退任）

●実績

開催日	評議員会 (神戸YWCA会館)	出席評議員数	欠席評議員数	出席役員
6月22日	第14回定期評議員会	8	1	3
2月1日	第15回臨時評議員会	7	1	3

## 会勢報告

### 会員・賛助員・会友数

2025/3/31

		2022年	2023年	2024年	増減
成人会員		106	104	107	3
年少会員		0	0	0	0
合 計		106	104	107	3
賛助員	個人	16	13	15	2
	法人	0	0	0	0
会 友		11	12	11	-1

### 会員・会友年齢別

2025/3/31

年齢別	会員	会友
12~17歳		
18~24歳	1	
25~29歳	2	1
30~39歳	2	
40~49歳	10	2
50~59歳	12	1
60~69歳	19	0
70~79歳	32	4
80歳以上	25	2
不 明	4	1
合 計	107	11

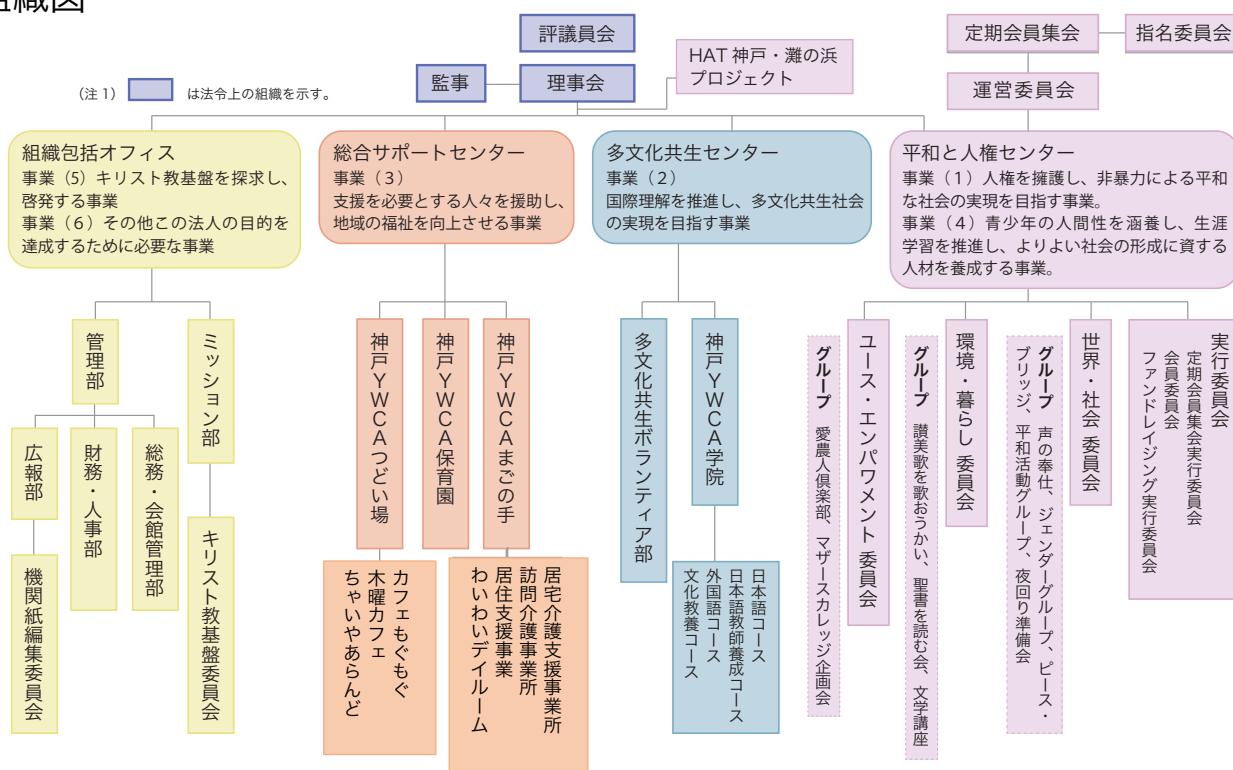
### 職員数

2025/3/31

	女	男	合計
幹事職	6		6
パート職	1		1
日本語主任講師	1		1
日本語副主任講師	1		1
まごの手専任	7		7
まごの手パート	3	1	4
まごの手ヘルパー	30	4	34
保育園常勤保育士	4		4
保育園パート保育士	4		4
保育園パート調理師・管理栄養士	5		5
合 計	62	5	67

# 2024年度 公益財団法人神戸YWCA 組織図

**<目的>**  
定款第3条 この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。



## ■評議員

川島 恵美  
島田 恒  
関本 雅子  
鶴崎 祥子  
寺澤 京子  
馬場 一郎  
藤野 達也  
松浦 裕子

## ■理事

理事長 平山 芳子  
理事 大工原 則子  
理事 野村 春美  
理事 三浦 啓子  
理事 宮田 泰子  
常務理事 西本 玲子  
業務執行理事 寺内 真子

## ■監事

監事 川関 敏恵  
監事 川邊 比呂子

## ■運営委員

会長	木村 文子
副会長	金本 美子、斎藤 明子
書記	住田 サーラ
会計	宮田 泰子

## ■職員（幹事職）

総幹事	西本 玲子
責任幹事	寺内 真子
幹事	秋月 啓子(2024年6月まで)
幹事	梅川 玲子
幹事	塙見 洋子
幹事	伝明地 敦子
幹事補	千葉 真理子



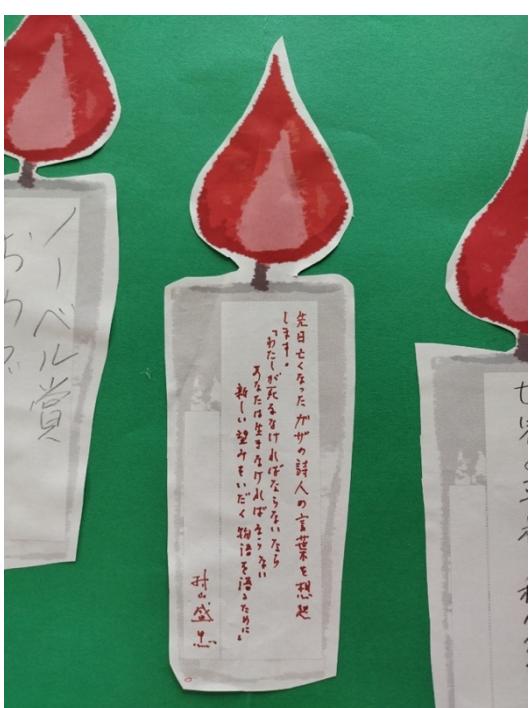
世界の、そして私の平和を願って踊る（私のへいわ夏祭り）



ズッキーニの試食 (HAT 神戸灘の浜野菜市)



お散歩は楽しい (神戸 YWCA 保育園)



ろうそくに祈りを込める (基督教基盤)



日本語・就業力スキルアップコースでの職業体験



神戸 YWCA ホームページ : [www.kobe.ywca.or.jp/top](http://www.kobe.ywca.or.jp/top)



神戸 YWCA フェイスブックページ : [www.facebook.com/kobeywca](http://www.facebook.com/kobeywca)



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : [www.facebook.com/kobeywcacollege](http://www.facebook.com/kobeywcacollege)



エックス @KobeYWCA



インスタグラム : kobeywca / kobeywcacollege

## 公益財団法人 神戸 YWCA

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10  
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692  
e-mail: [office@kobe.ywca.or.jp](mailto:office@kobe.ywca.or.jp)  
[www.kobe.ywca.or.jp](http://www.kobe.ywca.or.jp)

## YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー)  
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語  
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社  
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ  
る平和な世界を実現する国際 NGO です。